



寒川 学びプラン

令和 2 年度事業報告及び第 3 期実施計画(平成 28 年度～
令和 2 年度)事業実施状況の評価 (案)

ともに学び・ともに支えあう
自己実現と協働のまち・さむかわ



「寒川 学びプラン」令和2年度事業報告(案)

事業実施状況の概要

[評価目的] 「寒川 学びプラン」第3期実施計画に掲げた各事業の進捗状況を把握し、その評価を行うことにより、計画の着実な推進と実効性を確保し、「寒川 学びプラン」の目標である「ともに学び・ともに支え合う自己実現と協働のまち・さむかわ」の実現に向け、生涯学習振興を推進する。

[評価項目] 第3期実施計画期間中、令和2年度事業の実施状況の評価

[評価方法] 事業実施担当課が、令和2年度事業の実施状況の評価を次の区分で評価する。

【令和2年度の評価】

- A: 目標数値に対して90%以上
- B: 目標数値に対して70%以上90%未満
- C: 目標数値に対して70%未満
- D: 事業を実施できなかった

[評価の結果]

基本方針	事業数	A	B	C	D
第1節 情報提供体制・相談体制	4	2 事業	0 事業	2 事業	0 事業
		50.0 %	0.0 %	50.0 %	0.0 %
第2節 ライフステージごとの学習	17	2 事業	3 事業	11 事業	1 事業
		11.8 %	17.6 %	64.7 %	5.9 %
第3節 分野ごとの学習	32	8 事業	6 事業	11 事業	7 事業
		25.0 %	18.8 %	34.4 %	21.9 %
第4節 学習成果の活用	6	4 事業	1 事業	0 事業	1 事業
		66.7 %	16.7 %	0.0 %	16.7 %
第5節 参加を支える環境の整備	25	4 事業	2 事業	15 事業	4 事業
		16.0 %	8.0 %	60.0 %	16.0 %
合 計	84	20 事業	12 事業	39 事業	13 事業
		23.8 %	14.3 %	46.4 %	15.5 %

「寒川 学びプラン」第3期実施計画(平成28年度～令和2年度)事業実施状況(案)

事業実施状況の概要

[評価目的] 「寒川 学びプラン」第3期実施計画に掲げた各事業の進捗状況を把握し、実施計画期間(5年間)の評価を行うことにより、計画の着実な推進と実効性について総括し、引き続き、「寒川 学びプラン」の目標である「ともに学び・ともに支え合う 自己実現と協働のまち・さむかわ」の実現に向け、生涯学習振興を推進する。

[評価項目] 第3期実施計画期間(平成28年度～令和2年度)の評価

[評価方法] 事業実施担当課が、第3期実施計画期間(平成28年度～令和2年度)の目標達成度について次の区分で評価する。

【第3期実施計画期間(5年間)の評価】

- A： 達成した
- B： 概ね達成した
- C： 達成できなかった

[評価の結果]

基本方針	事業数	A	B	C
第1節 情報提供体制・相談体制	4	4 事業	0 事業	0 事業
		100.0 %	0.0 %	0.0 %
第2節 ライフステージごとの学習	17	8 事業	7 事業	2 事業
		47.1 %	41.2 %	11.8 %
第3節 分野ごとの学習	32	13 事業	16 事業	3 事業
		40.6 %	50.0 %	9.4 %
第4節 学習成果の活用	6	4 事業	2 事業	0 事業
		66.7 %	33.3 %	0.0 %
第5節 参加を支える環境の整備	25	9 事業	11 事業	5 事業
		36.0 %	44.0 %	20.0 %
合 計	84	38 事業	36 事業	10 事業
		45.2 %	42.9 %	11.9 %

「寒川 学びプラン」令和2年度事業報告及び第3期実施計画(平成28年度～令和2年度)事業実施状況

第1節 情報提供体制・相談体制

①情報提供の充実

重点事業	NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
				2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値										R2 評価
						下段：実績値										
				H28	H29	H30	R1	R2								
重点事業 ①	1	生涯学習関連事業の 情報提供 【重点事業①】	各課等で行われる年間の講座、教室等の情報をとりまとめた「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を年2回(上半期、下半期)発行する。	「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を計画どおり年2回発行し、講座等の情報を提供した。 広報さむかわの講座等参加者募集の記事で、さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園の対象のものは、マークをつけて周知を図った。	各課等で行われる年間の講座、教室等の総事業数(件)	150	150	150	150	150	C	町民に対して、生涯学習関連事業の情報提供をすることで、学習意欲の喚起、学習機会の提供をすることができたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため事業が大幅に中止となり、目標値を達成することができなかった。	A	各課等が行っている講座・教室等の情報を取りまとめ、町民に対して継続的に情報提供を行い、令和2年度を除いて、目標値の90%以上の実績を残すことができた。	協働文化推進課	
		町民の生涯学習を推進するため、各課等で行われる講座・教室等の情報を取りまとめ、情報提供を行います。(さむかわ町民大学)				136	137	171	185	84						
重点事業 ②	2	広報活動事業	広報紙、町ホームページ、メール配信サービス、広報板、ツイッター、テレビ放送、エフエム放送、報道機関など様々な媒体の活用し、行政の施策や事業など町の情報提供を行います。	町の施策や事業などの情報を、次の媒体を活用して提供した。 【活用媒体】 ①広報紙 ②町ホームページ ③便利ガイド ④メール配信サービス ⑤広報板 ⑥Twitter ⑦Facebook ⑧Instagram ⑨LINE@ ⑩マチイロ(広報紙) ⑪マイ広報紙 ⑫新聞・タウン紙 ⑬J-COM ⑭YouTube ⑮コミュニティ放送(レディオ湘南・さむらじ) ⑯マチマチ	情報提供を行う媒体数(件)	11	11	14	15	16	A	これまで展開してきた情報発信媒体に加え、新たに2020年(令和2年度)より、町民の皆さまが子育て情報をはじめ各講座やイベント等の様々な情報を手軽に交換できる近所SNS「マチマチ」の導入により、新たな情報発信媒体を獲得し目標指標を達成するとともに、町民の皆さまの情報取得機会の強化を図ることができた。	A	第3期実施計画期間(5年間)の全ての年度において、指標の目標値を達成することができたこと、さらには、目標値の達成により、町民の皆さまの情報取得機会の拡大に繋げることができたため。	広報戦略課	
		広報紙、町ホームページ、メール配信サービス等の様々な媒体を活用し、行政の施策や事業など町の情報提供を行います。				11	13	14	15	16						
重点事業 ②	3	生涯学習情報紙の発行 【重点事業②】	・町内の子ども向けの講座やイベント等を掲載する情報紙「すきっぷ」を年4回発行する。 ・町が実施する生涯学習事業を紹介する「さむかわ生涯学習総合案内」を年1回発行する。	「すきっぷ」を計画どおり年4回発行し、町内の幼稚園、保育園、小学校に通う児童全員に配布した。 また、「寒川生涯学習総合案内」を発行し、町が行う生涯学習事業に関する情報を提供した。	生涯学習情報紙の年間発行回数(回)	5	5	5	5	5	A	定期的に「すきっぷ」を配布することにより、子ども向けの生涯学習の情報媒体として定着し、講座等への参加にもつながっている。	A	年4回、町内の幼稚園、保育園、小学校に通う児童全員に配布することで、子ども向けの生涯学習情報媒体として定着し、講座参加に繋げることができた。	協働文化推進課	
		町民に生涯学習に関する情報提供を行うため、生涯学習に関する情報紙を発行します。(生涯学習総合案内、子ども生涯学習情報紙すきっぷ)				5	5	5	5	5						

②相談体制の充実

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値										R2 評価
					下段：実績値										
H28	H29	H30	R1	R2											
4	総合的な相談体制の充実 生涯学習に関する情報の収集・発信や各種相談への対応を行います。	・団体等からの広報掲載依頼に対応し、生涯学習に関する情報の発信を行う。 ・生涯学習活動に関する相談に随時対応する。	団体からの依頼に基づき、広報さむかわへの掲載依頼を行った。 また、生涯学習活動に関する相談に応じ、関係課等との連絡調整を図った。	団体からの依頼による広報記事掲載件数(件)	10	10	10	10	10	C	各団体等の活動を地域に周知し、文化・芸術活動の振興の提供等を図った。 また、生涯学習活動に関する相談に対応し、相談者の学習活動等へ繋げることができたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、各団体の事業が中止となり、目標値を達成することができなかった。	A	各団体等の活動を地域に周知し、文化・芸術活動の振興、国際交流機会の提供等を図った。また、生涯学習活動に関する相談に対応し、相談者の学習活動等へ繋げることができた。	協働文化推進課	
					25	14	14	11	2						

第2節 ライフステージごとの学習

1 乳幼児期、青少年期の学習支援

(1)家庭等における教育力の向上

①家庭教育の推進

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値										R2 評価
					下段：実績値										
H28	H29	H30	R1	R2											
5	家庭教育講座等開催事業 子育て家庭を支援するため、家庭教育についての講座・教室・講演会等の学習機会を提供します。	【町民センター】ママとベビーのふれあい体操(11月) 【北部公民館】おはなし図書館(月1回) 【南部公民館】おはなし広場(月1回) / 南部幼児クラブ教室(4月・10月) / 親子あそび(10月)	【町民センター】ママとベビーのふれあい体操(11月) 【北部公民館】おはなし図書館(月1回) 【南部公民館】おはなし広場・幼児(月1回) / おはなし広場・小学生(月1回) / 親子でクラフト教室(10月・12月) / 親子リトミック教室(10月)	講座・教室等の開催回数(回)	1	1	4	4	4	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、公民館の臨時休館対応や講座等事業の多くが中止となった。9月以降に講座を再開したが、人やものへの接触が多い幼児を対象とする事業は消毒作業や定員の減数、広い会場設定など、例年と違う配慮が必要となった。参加者アンケートでは、コロナで不安を抱える日々の中、久しぶりに講座に参加して、楽しかったというような感謝の声も寄せられ、コロナ禍においても講座開催の意義が感じられた。	A	計画期間中の実績は目標数値を達成した。	教育総務課	
					3	3	6	6	8						

②幼児教育の推進

NO	事業名	2年度実行計画	2年度実施状況	目標指標 (単位)	2年度事業報告					R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
	事業内容				上段：目標数値									
					下段：実績値									
					H28	H29	H30	R1	R2					
6	子ども読書ふれあい事業	おはなし会(毎週土曜日)おひざにだっこのおはなし会(月2回)わらべうた講座(年2回)スペシャルおはなし会(年2回)ぬいぐるみお泊り会(年2回)	未就学児と保護者を対象とした「おはなし会」を開催した。(6回開催) 0歳児から2歳児までと保護者を対象とした「おひざにだっこのおはなし会」を開催した。(4回開催) 子育て支援センター出張わらべうた会(1回開催) 定期的に開催しているおはなし会は利用者に認知されており、参加者も定着し継続的に参加されている。 新型コロナウイルスの影響で4月から9月および1月、2月は開催できなかった。	おはなし会等の開催回数(回)	60	60	60	60	60	C	子どもと本をつなぐきっかけづくりなどのため「おはなし会」を開催しており、参加者も多く定着が図られている。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で対面朗読形式の上に「3密」になりがちな「お話し会」は一定期間中止となった。	B	図書館のおはなし会は広く認知されている。子どもと本をつなぐきっかけづくりなどのため、「おはなし会」を開催しており、参加者も多く定着が図られているため。	総合図書館 (教育総務課)
	幼児期から本と出会い、親しむ場を提供するため、おはなし会(絵本の読みきかせ)の事業を実施します。			61	61	66	70	11						
7	乳幼児を対象とした事業	【町民センター】ママとベビーのふれあい体操(11月)／子ども映画会(年6回)【北部公民館】おはなし図書館(月1回)／親子サロン(施設開放・通年)【南部公民館】おはなし広場(月1回)／南部幼児クラブ教室(4月・10月)／親子あそび(10月)／南部ほっとオアシス(施設開放・通年)	【町民センター】ママとベビーのふれあい体操(11月)【北部公民館】おはなし図書館(月1回)／親子サロン(施設開放・通年)【南部公民館】おはなし広場(月1回)／親子でクラフト教室(10月・12月)／親子リトミック教室(10月)／南部ほっとオアシス(施設開放・通年)	講座・教室等の開催回数(回)	10	10	34	34	34	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、公民館の臨時休館対応や講座等事業の多くが中止となり、開催できた時期が9月～12月と3月22日～31日までの4ヶ月程度であった。参加者アンケートでは、コロナで不安を抱える日々の中、久しぶりに講座に参加して、楽しかったというような感謝の声も寄せられ、コロナ禍においても公民館講座開催の意義が感じられた。	A	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、事業の多くが中止となったが、令和元年度までの実績値は目標数値を達成している。また、令和2年度も通常の1/3期間のうちに目標数値の50%は達成しており、一定の成果はあった。	公民館 (教育総務課)
	文化教養の向上や地域づくりに資するため、ライフステージ(乳幼児期)ごとの講座・教室等を行います。			42	47	41	36	17						

③子育て支援の推進

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告						R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値									
					H28	H29	H30	R1						R2
8	子育て支援センター事業	子育てに関する相談、啓発活動、サークルの育成、支援などの事業の実施 実施日：月～金 10：00～16：00（土・日・祭日・年末年始及び月1回月曜の午後を除く）	子育てに関する相談、啓発活動、サークルの育成、支援などの事業を行った。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月25日以降6月15日まで施設を閉所し、以降は人数を制限して開所した。	子育て支援センターの利用者数(人)	12,250	9,200	9,230	9,260	9,430	C	育児や子育てに関する情報提供と相談対応など子育て支援体制の充実を図った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の閉所や利用者数を制限しての開所をしたが、育児不安を抱える保護者に対し手紙や電話により状況の把握に努めた。	B	令和元～2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の実施形態を変更したため利用者数が減少したものの、5年間を通して子育てに関する相談、啓発活動、サークルの育成、支援などの事業を行い、概ね目標を達成した。	子育て支援課
	子育てに関する相談、啓発活動、サークルの育成、支援などの事業のきっかけづくりとなるイベント等を開催します。				9,101	9,259	9,342	8,521	2,722					
9	母子健康教育事業	①父親・母親教室：1コース4日年5回 ②父親母親教室OB会：1コース2日年5回 ③離乳食講習会：前期12回 後期6回 ④7か月相談 年12回 ⑤あそびの広場：年12回 ⑥育児の今・昔はやわわり講座：1回 ⑦育児相談：年24回 ⑧1歳6か月児健診：年12回 ⑨2歳児歯科健診：年12回 ⑩3歳6か月児健診：年12回	①父親・母親教室：1コース4日年4コース16回 ②父親母親教室OB会：年4回 ③離乳食講習会：前期10回 後期5回 ④7か月相談 年10回 ⑤あそびの広場：年5回 ⑥育児の今・昔はやわわり講座：1回 ⑦育児相談：年18回 ⑧1歳6か月児健診：年12回 ⑨2歳児歯科健診：年13回 ⑩3歳6か月児健診：年13回	講座・教室等の開催回数(回)	115	115	115	121	121	B	新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言等により、事業を中止したことにより、目標を達成できなかった。 感染防止対策を確立しあそびの広場を除き、現在は事業を中止することなく実施している。 あそびの広場は、幼児の教室で保育士等スタッフや他児との接触が避けられないため、緊急事態宣言中は開催を中止している。	A	H28～令和元年度までは目標を達成できた。 令和2年度は新型コロナウイルスのため4月5月の事業を中止したことにより、年間の目標達成率が88.4%であったが、令和2年6月以降は集団の事業も感染防止対策を確立し、一部の事業を除き実施できているため。	子育て支援課
	妊婦、乳幼児とその保護者等を対象に、育児知識と技術の啓発、普及を図るため、父親・母親教室等を実施します。				128	128	127	125	107					
10	地域子育て環境づくり支援事業	地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを推進するために、子育て支援に関する事業を行う団体に対し、事業協力(補助)を行います。	地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを推進するために、子育て支援に関する事業を行う2団体に対し補助を行った。	実施団体数(団体)	2	2	2	2	2	A	「不登校サポートネットワーク事業」、「小谷こどもカフェ」の2事業について支援決定をした。町内に子育て支援をする団体が少ないことから、地域社会全体で子育てを支援していくための意識啓発が必要のため、更なる制度周知を行っていくことにより、支援数の増加を目指す。	A	5年間を通して目標数値を達成し、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりの推進を図った。	子育て支援課
	地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを推進するために、子育て支援に関する事業を行う団体に対し、事業協力(補助)を行います。				2	2	4	3	2					

(2) 学校、地域の連携による学習支援と青少年の健全育成

① 学校における学習の充実

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値										R2
					下段：実績値										
H28	H29	H30	R1	R2											
11	「生きる力」育成 事業	・新学習指導要領実施による、校内研究の充実への支援 ・各小学校の芸術体験事業のための一部補助	町内全小・中学校において、「さむかわ学びっこ子育て事業」を通じて、校内研究の充実を図るとともに、学校訪問等の機会を捉え、適宜指導・助言を行っている。 緊急事態宣言や新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、芸術鑑賞については、町立小学校の全てで実施することができなかった。	校内研究及び芸術鑑賞の取組校数(校)	16	16	16	13	13	C	校内研究の充実に向けて、各小・中学校において外部講師を招聘し、緊急事態宣言や新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、校内の教職員だけを対象に研修を行った。今後は、指導・助言の質の向上を図り、更なる校内研究の深まりにつなげることが重要である。 芸術鑑賞においては、町立小学校の全てで実施することができなかった。体育館を使って開催する関係上、一度に大勢の児童が集まるので、来年度以降も開催は難しいと思われる。	A	令和2年度を除き、過去4年間は校内研究の充実を図ることができた。また、小学校の芸術体験事業では、本物の音楽や劇、伝統文化等にふれることで、豊かな情操の育成につなげることができたため。	学校教育課	
	16				16	16	13	8							
12	「地域のせんせい」ふれあい推進 事業	地域の人材を活用して、町内小中学校における授業の補助、体験学習等を行う。 (各校の実態による)	緊急事態宣言や新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、学校の中に多数の地域の人材を取り入れる活動が難しく、感染症対策を行った上で、活動ができそうな範囲内で少人数の地域の人材を活用した。	体験的教育活動と指導の項目数(件)	45	45	45	45	45	B	緊急事態宣言や新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、学校の中に地域の人材を取り入れる活動が難しかったが、その中でも各学校の工夫などにより、地域の人材を活用することができ、有意義な時間を過ごすことができていた。 課題としては、子どもの命が第一に優先されるため、今後も新型コロナウイルス感染症の状況により、地域の人材を活用することが難しい場合がある。	A	令和2年度を除き、過去4年間は地域の人材を十分に活用し、より充実した活動を行うことができたため。	学校教育課	
	61				52	49	54	33							

②地域における学習の充実

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値										R2 評価
					下段：実績値										
H28	H29	H30	R1	R2											
13	さむかわゆうゆう学園の開催	各課等で行われる年間の講座、教室等の情報をとりまとめた「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を年2回(上半期、下半期)発行する。 対象事業に1回参加することにより、スタンプカードにスタンプを1個押し、10個スタンプを集めた申請者に修了証と記念品を贈呈する。	「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を計画どおり年2回発行した。 また、子ども向け生涯学習情報紙「すきっぷ」にゆうゆう学園対象講座等を掲載し、町内の幼稚園、保育園、小学校に通う児童全員に配布した。申請者に対し、修了証及び記念品を交付した。	修了証交付人数(人)	50	50	50	50	50	C	「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」や「すきっぷ」の発行を通じて、子ども向けの各講座やイベントへの情報提供をすることができた。修了式は、わくわくブックマーケットの中止により、町長応接室において実施した。(2名出席) 新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業が大幅に中止となったことなどにより、交付人数は昨年度に比べ減少した。継続して参加してもらうことが課題であり、各課等とも連携を図り引き続き周知に力を入れていく必要がある。	B	「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」や「すきっぷ」の定期的な発行により、子どもを対象とした事業を周知し、講座や教室の参加に繋げることができたが、ゆうゆう学園修了証申請者数が減少傾向にある。	協働文化推進課	
	青少年に地域での学習の機会を提供し、学びに目を向ける動機づけとなるよう、町の機関等が実施する事業をとりまとめて参加を奨励します。								35						39
14	青少年を対象とした事業	【町民センター】子ども科学教室(年6回)ほか13事業予定 【北部公民館】百人一首かるた教室(月1回)ほか14事業予定 【南部公民館】南部子どもクッキング教室(年4回)ほか14事業予定	【町民センター】子ども科学教室(8月) 【北部公民館】子ども卓球教室(9・10月)／子どもマイコン・プログラム教室(10月)／ハルーンで遊ぼう(12月)／百人一首かるた教室(通年)／集会所開放事業(卓球・バドミントン)(通年) 【南部公民館】子ども樹脂ねんど教室(9月)／親子でクラフト教室(10月)／子どもディンプルアート体験教室(10月)／子どもお琴体験教室(3月)／おはなし広場(小学生)(通年)／集会所開放事業(卓球・バドミントン)(通年)	講座開催回数(回)	43	43	108	108	108	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、公民館の臨時休館対応や講座等事業の多くが中止となり、開催できた時期が9月～12月と3月22日～31日までの4ヶ月程度であった。	B	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、事業の多くが中止となったが、令和元年度までの実績は概ね達成している。	公民館 (教育総務課)	
	文化教養の向上や地域づくりに資するため、ライフステージ(青少年期)ごとの講座・教室等を行います。														
					79	99	94	93	20						

③青少年の健全育成

NO	事業名	2年度実行計画	2年度事業報告						R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
	事業内容		2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値									
					H28	H29	H30	R1						R2
15	青少年育成事業	子どもまつり(1回)、小学生体験学習事業(2事業) 創意くふう展(1回)、青少指定例会(12回) 団体派遣(5回)※子ども会、公民館等 青少年問題協議会(2回)、成人式(1回) ジュニア定例会(11回)	青少指定例会(成人式打ち合わせ1回)、青少年問題協議会(書面会議1回)、成人式(1回)	事業開催数(回)	31	31	24	35	35	C	青少年問題協議会は書面会議で行い、関係団体同士で情報交換を行うことができた。 成人式はコロナ禍での開催となったが、例年と同程度の参加率で、多くの新成人に対し、社会人としての門出を祝福することができた。 その他の事業については、新型コロナウイルス感染防止のため、実施しなかった。	B	5年間のうち、3年間は目標を達成したため。	保育・青少年課
	35				35	32	34	3						
16	ふれあい塾運営事業	週3日(月・水・金)町立5小学校体育館で、指導員と見守りボランティアを配置し開催 ※給食の無い日及び学校休業日は開催しない	未実施	参加人数(人)	14,500	14,500	15,000	15,000	10,000	D	新型コロナウイルス感染防止のため、事業を実施しなかった。	C	参加人数は年々減少しており、平成28年度以外は目標を達成できなかったため。	保育・青少年課
	14,918				10,771	8,780	6,120	0						

2 成人期の学習支援

①多様な学習機会の充実

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値										R2 評価
					下段：実績値										
H28	H29	H30	R1	R2											
17	さむかわ出前講座の開催	町民で構成される団体やグループの依頼に応じて、町職員を講師として派遣する。	「さむかわ出前講座」のチラシを発行した。また、各団体の依頼に基づき、各課協力により下記のとおり講座を実施した。 令和2年度派遣実績 講座メニュー：25講座 依頼数：5件 受講者数：609人	派遣回数 (回)	15	15	15	15	15	C	団体等からの申請により希望テーマに対し派遣を行い、学習機会を提供することができたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等もあり、昨年度に比べ派遣回数は減少した。引き続き制度の周知を行うとともに、各課等の学習ニーズに対応できる体制を目指す必要がある。	C	H28年度は目標値に対して80%の実績を残したが、H29年度以降は20～50%前後の実績にとどまり、一度も目標値に達することができなかった。	協働文化推進課	
	町民と行政が共に学びながらまちづくりを推進するために、団体等の依頼に応じ、学習を目的とした集会等に町職員を講師として派遣します。				12	3	7	8	5						
18	成人期を対象とした事業	【町民センター】さむかわ名画座（年6回）ほか22事業予定 【北部公民館】季節のウォーキング（年2回）ほか10事業予定 【南部公民館】簡単アート居室（4月）ほか14事業予定	【町民センター】アコースティックギター教室（9月）外15事業 【北部公民館】陶芸教室（10月）外9事業 【南部公民館】今から学ぶ終活入門講座（9月）外9事業	講座・教室等の開催回数 (回)	32	32	85	90	95	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、公民館の臨時休館対応や講座等事業の多くが中止となり、開催できた時期が9月～12月と3月22日～31日までの4ヶ月程度であった。事業再開にあたり、三密回避のため、少人数の事業が中心となったが、各講座とも概ね定員に達しており、コロナ禍においても学習機会が望まれていることが感じられた。参加者アンケートにおいても講座の充実度・満足度で「良い」が平均92.4%であり、高い評価を得ている。	A	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、事業の多くが中止となったが、令和元年度までの実績値は目標数値を達成している。また、令和2年度も通常の1/3期間のうちに目標数値の50%は達成しており、一定の成果はあった。	公民館 (教育総務課)	
	文化教養の向上や地域づくりに資するため、ライフステージ（成人期）ごとの講座・教室等を行います。				75	55	110	115	48						

②就労に関する学習機会の充実

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告						R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価	担当課	
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値									
					H28	H29	H30	R1						R2
19	労働講座等の開催	<ul style="list-style-type: none"> 寒川町商工会と共催で創業支援セミナーを開催。 県や関係機関と協力し、就労支援のための講座を開催。 労政問題懇話会と町が共催で、労働講座を9~10月頃に実施予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ○創業支援セミナー 開催日：10~11月 会場：寒川町商工会 参加人数：19名 ○湘南合同就職面接会 開催日：令和3年1月29日 会場：藤沢商工会館 ミナパーク 参加人数：46名(10代：20代：10名) ○労働講座 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止 	講座・教室等の開催回数(回)	3	3	3	3	3	C	<p>労政問題懇話会との共催による労働講座の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、中止となった。今後、実施方法等について検討する必要がある。</p> <p>湘南合同就職面接会では、藤沢市・茅ヶ崎市・鎌倉市・ハローワーク藤沢・神奈川県等と共催で感染症対策を行ったうえで実施し、若者の就労機会に繋がる事業を行った。</p> <p>また、商工会との共催で町内での新規創業者・創業予定者を対象とした創業支援セミナーを開催する事ができた。</p>	B	<p>令和元年度以前については、目標数値と同数もしくは上回る実績値となり、目標を超えたのではないかと思う。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、社会の大きな変化などにより、通常通りの事業等の実施が難しくなり、令和2年度は目標に届かなかった。</p> <p>今後はセミナー等の開催方法なども含めて検討していく必要がある。</p>	産業振興課
	3				5	3	4	2						

3 高齢期の学習支援

① 高齢期における多様な学習機会の充実

NO	事業名	2年度実行計画	2年度事業報告						R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
	事業内容		2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値									
					下段：実績値									
			H28	H29	H30	R1	R2							
20	高齢者を対象とした事業	【町民センター】高齢者のための生き方講座(6月) 【北部公民館】健康づくり講座(7月)ほか3事業予定	【北部公民館】防災講座(9月)／ 【北部公民館】健康づくり講座(10月)／ 【南部公民館】敬老室開放事業(囲碁将棋)通年	講座・教室等の開催回数(回)	15	15	85	90	95	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、公民館の臨時休館対応や講座等事業の多くが中止となり、開催できた時期が9月～12月と3月22日～31日までの4ヶ月程度であった。北部公民館では高齢者を対象とした講座をシニアクラスとして各講座を結び付けて、参加をよびかけるなど、地域の仲間づくりとなる機会を提供した。	A	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、事業の多くが中止となったが、令和元年度までの実績は達成している。	公民館 (教育総務課)
	文化教養の向上や地域づくりに資するため、ライフステージ(高齢期)ごとの講座・教室等を行います。	【北部公民館】敬老室開放事業(囲碁将棋)通年	講座・教室等の開催回数(回)	75	55	110	115	7						
21	高齢者生きがいづくり等支援事業	シニアクラブ活動事業費、シニアクラブ連合会職員の人件費の補助を継続するとともに、多様化する高齢者のニーズに対応できるよう、活動方法に関するアドバイスやノウハウの提供等、必要な支援を行う。	シニアクラブ活動等事業・シニアクラブ連合会職員の人件費補助 シニアクラブ連合会 シニアクラブ数:15クラブ 会員数:656人(3月末日時点)	シニアクラブ加入者数(人)	750	755	760	765	770	B	シニアクラブへの支援を通じ、町内の高齢者の生きがいや健康づくりを推進することができた。 しかし、令和2年度はコロナウイルスが流行したことにより、事業が予定通りに開催できない状況であった。 結果として、会員も減少してしまったため、加入者を増やすためのPRを、より行う必要がある。	B	H28～R2まで各年度の評価がB以上であったため、5年間の評価をBとした。	高齢介護課
	地域での生きがいづくり、健康づくり推進のため、シニアクラブの活動を支援します。	シニアクラブ活動等事業・シニアクラブ連合会職員の人件費補助 シニアクラブ連合会 シニアクラブ数:15クラブ 会員数:656人(3月末日時点)	シニアクラブ加入者数(人)	724	714	710	690	656						

第3節 分野ごとの学習

NO	事業名	2年度実行計画	2年度事業報告						R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
	事業内容		2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値									
					下段：実績値									
				H28	H29	H30	R1	R2						
重点事業 ③	社会教育振興事業 【重点事業③】	【町民センター】講座、教室、発表会、演奏会等52事業予定 【北部公民館】講座、教室、発表会、演奏会等40事業予定 【南部公民館】講座、教室、発表会、演奏会等43事業予定	【町民センター】18事業 【北部公民館】20事業 【南部公民館】18事業	各公民館における年間実施事業数(件)							新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、公民館の臨時休館対応や講座等事業の多くが中止となり、開催できた時期が9月～12月と3月22日～31日までの4ヶ月程度であった。事業再開にあたり、三密回避のため、少人数の事業が中心となったが、各講座とも概ね定員に達しており、コロナ禍においても学習機会が望まれていることが感じられた。参加者アンケートにおいても講座の充実度・満足度が「良い」が平均92.4%であり、高い評価を得ている。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、事業の多くが中止となったが、令和元年度までの実績値は目標数値を達成している。また、令和2年度も通常の1/3期間のうちに目標数値の50%は達成しており、一定の成果はあった。	公民館 (教育総務課)	
	22	文化教養の向上や地域づくりに資するため、住民ニーズにあわせた講座・教室等を行います。(公民館講座)			100	100	103	106	110	C				A
					74	89	121	120	56					

第3節 分野ごとの学習

1 文化・芸術

①文化・芸術について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値									
					H28	H29	H30	R1	R2					
23	地域文化振興事業	<ul style="list-style-type: none"> 町文化連盟と寒川町文化祭実行委員会を組織し、寒川町文化祭を開催する。 藤沢市・茅ヶ崎市と連携し、湘南の魅力発見プロジェクトを実施する。 	新型コロナウイルス感染症拡大のため、第51回寒川町文化祭と湘南の魅力発見プロジェクトは中止となった。	実施事業数(件)	3	3	3	3	3	D	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大により、第51回寒川町文化祭は中止せざるを得なかった。各団体の発表の場がなくなり、会員のモチベーションを維持していくことが課題である。 2市1町で構成する湘南広域都市行政協議会 広域文化活動部会が実施する湘南の魅力発見プロジェクトは令和2年度がプロジェクト最終年度であり、過去の成果物を活用し展示会等を開催し、湘南の魅力を発信する場を設ける予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、事業の実施を見送り、令和3年度にこれまでの取組の効果等の総括と成果物等の情報発信力強化の取組を行っている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 寒川町文化祭を開催し、町内の文化団体の発表の場を提供することで、文化活動の振興を図るとともに、町民の自主的な創作、発表や鑑賞をとおして町民相互の交流を深めることができた。 藤沢市、茅ヶ崎市と連携し、2市1町の新たな魅力を発見し、作品等を発表することで、その魅力を発信することができた。 	協働文化推進課
	文化活動の推進・発展を図るため、文化芸術に関する事業の実施、近隣の文化団体との交流機会の提供を行います。				3	3	3	3	0					
24	総合図書館運営事業	特集展示(1~3ヶ月単位で展示) 成人向け講習会開催(年3~4回) 一般向け映画会(年2回) 子ども向け映画会(年2回) 講演会(年1回)	様々なテーマを設け、図書資料を紹介する「企画展示」、図書資料や視聴覚資料を同時に展示する「複合展示」、町の各部署との共催の展示等を行った。 新型コロナウイルスの影響で臨時休館の期間やカウンターでの予約本受け渡しのための期間もあり、講座や展示の回数が減少した。	講座・展示等の開催回数(回)	140	140	140	140	140	C	地域の情報発信拠点として、新たな本との出会いの場である図書の展示や、図書館利用者の拡大等を視野に入れた企画事業、情報提供のためのポスター掲示やチラシの配架も大切な仕事と捉えている。 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響による図書館の一定期間の臨時休館や館内の利用制限がおこなわれた。 また「3密回避」のため各種事業が中止された。	B	新たな本との出会いの場である図書等資料の展示や、図書館利用者の拡大等を視野に入れた企画事業を積極的に実施しているため。	総合図書館 (教育総務課)
	図書、雑誌、視聴覚資料等を収集・提供や資料展示、企画事業により、文化芸術等様々な知的要求に応える図書サービスを展開します。				153	136	108	85	80					

NO	事業名	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
	事業内容		2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値									
					H28	H29	H30	R1	R2					
25	文書館保存資料活用事業	古文書講座(5月～10月、6回)、講演会(7月・11月、2回)、企画展(6月・10月、2回)、ミニ展示(9月・1月、2回)、展示説明会(6月・10月、2回)、資料保存ワークショップ(1回)、映像上映会(11月、1回)	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、集客をとまなう普及事業は中止とした。その代替措置として、インターネット展示を3回(企画展示2回、ミニ展示1回)開催した。	講座・展示等の開催回数(回)	16	16	19	19	19	C	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、予定していた多くの普及事業を中止とした。やむを得ない措置ではあったが、収蔵資料の利用を促す機会を設けることができなかった。そのようななか、インターネット展示という新たな取り組みを実施したことは大きな成果といえる。	B	令和2年度事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で予定事業を計画どおりに実施することができなかった。しかし、平成28～令和元年度事業に関しては、収蔵資料の利用をうながす事業を概ね展開できたと考える。	文書館
	寒川地域に関する記録資料を調査、収集、整理、保存し、利用に供するとともに、資料を用いた普及活動等を行います。				18	19	18	11	3					
26	文化財学習センター事業	考古学講座(茅ヶ崎市寒川町広域連携事業)(4月～5月)布ぞうり作り教室(6月)文化財学習センターワークショップ(10月)遺跡発掘発表講演会(11月)文化財学習センター収蔵品出張展示	講座関連については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。出張展示に関しては、観光協会、町民センター2カ所で開催した。	講座・展示等の開催回数(回)	6	6	4	4	4	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座等は中止とした。今後は感染拡大防止策を行いながらの事業を考えなければならないだろう。出張展示に関しては今後も積極的に実施していきたい。	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための中止を除けば概ね各年度100%以上の達成率であるため。	教育総務課
	文化財の整理保存、修復を行い、展示等の公開事業や企画展、各種普及啓発事業を実施します。				8	9	8	8	2					

②文化・芸術活動の促進

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告					R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課		
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値									
					H28	H29	H30						R1	R2
27	学習成果発表の場の提供	令和2年度開館日：347日（休日：毎月第3月曜日、年末年始）	町民センター年間利用実績 展示室1:520回11,409人利用 展示室2:384回1,609人利用 ホール:69回5,347人利用 ※4月1日～6月15日まで臨時休館のため一般貸出停止。	ホール・展示室の年間貸出数(回)	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	C	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月1日から6月15日まで臨時休館となり、一般への貸し出しを中止した。町民センターの施設の特色を生かして文化団体、公民館サークル等の活動の発表、作品展示を行い、学習成果発表ができる地域の学びの拠点としているが、コロナ禍の先の見通せない状況が続き、予定を中止とする団体が多かった。	B	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、目標に届いていないが、令和元年度までの実績は概ね達成している。	町民センター 公民館 (教育総務課)
	公民館サークルや一般団体の成果発表の場として、展示室及びホールの貸し出しを行います。				1,119	1,498	1,460	1,500	973					
28	文化団体の育成・活動促進	町文化連盟への補助金支出、文化団体の広報活動への協力等を行う。	寒川町文化連盟へ補助金を支出し、文化連盟及び加盟する文化団体の活動を支援した。また、活動場所の提供や広報の協力等を行った。	文化連盟の会員数(人)	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	B	団体活動を支援することにより、町民の文化活動の推進、地域の文化振興を図ったが、会員数は減少が続いている。事業内容等を検討し、幅広い年齢層の参加が得られ、地域文化が継承できるよう引き続き支援をする必要がある。	B	地域文化が継承できるよう活動場所の提供や広報掲載等を支援しているが、H28年度から会員数が目標値に達せず、減少傾向が続いている。	協働文化推進課
	地域文化の振興及び継承ができるよう、文化団体の育成、活動の支援をします。				1,307	1,192	1,153	1,034	919					

2 情報化

① 情報化について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値										下段：実績値
					H28	H29	H30	R1	R2						
29	教育コンピュータ 活用事業	学習指導要領に示されているICT機器の活用した授業づくりを行うための環境整備を行うとともに、家庭版学校教育だよりによるeライブラリの活用を啓発していく。	新学習指導要領に対応できるように、ICT機器整備とともにその推進を図った。eライブラリの活用を促すために、学校教育だより等で周知をした。	児童・生徒のeライブラリ活用率(%)	100	100	100	100	100	A	導入されたタブレットPCを活用するなど、授業におけるICTの活用を図った。また、家庭においてeライブラリを活用することができるように取り組んだ。	A	学習指導要領に示されたICT機器を活用した授業づくりを推進するため、環境整備を含め、eライブラリの活用の啓発ができた。	学校教育課	
	100				100	100	100	100							

② 情報化の推進

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値										下段：実績値
					H28	H29	H30	R1	R2						
30	インターネット資料 検索システムの提供	インターネットでの資料検索システムの提供を行います。	パソコンやスマートフォンから図書館の蔵書検索、予約、貸出状況が確認できる図書館システムを提供すると同時に館内にWi-Fi環境を整備し、利用者が自分の端末からインターネット上の情報資源を利用できる環境を提供している。	蔵書検索回数(回)	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	A	総合図書館HPから蔵書検索ができ、必要とする資料を短時間に探すことができるため、広く活用されている。	A	HPから蔵書検索ができ、必要とする資料を短時間に探すことができ、広く活用されているため。	総合図書館 (教育総務課)	
	661,136				656,841	672,902	706,267	689,059							

3 国際化

① 国際化について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
	事業内容		2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値									
					下段：実績値									
				H28	H29	H30	R1	R2						
31	国際交流・国際理解事業	さむかわ国際交流協会へ交付金を支出し、協会が実施する国際交流・国際理解に関する事業を支援する。	新型コロナウイルス感染症拡大のため、各事業を実施することができず、交付金は全額返還された。	講座・教室等の開催回数(回)	3	3	3	3	3	D	新型コロナウイルス感染症拡大により日本語教室等の事業は中止とせざるを得なかった。引き続き、協会の活動を支援していくことで、町民に対して国際理解、国際交流の機会を提供するとともに、外国籍住民の支援にも繋げていきたい。	A	令和2年度は事業を実施することができなかったが、さむかわ国際交流協会の活動を継続的に支援することができた。また、日本語教室の開催は、日本語による意思疎通が難しい外国籍住民の社会参加に繋げることができた。	協働文化推進課
	国際交流や国際理解に関する教室・講座等の学習機会を提供します。				3	3	3	3	0					

② 国際化の促進

NO	事業名	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
	事業内容		2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値									
					下段：実績値									
				H28	H29	H30	R1	R2						
32	国際交流団体の育成・活動促進	さむかわ国際交流協会へ交付金を支出し、協会の国際交流・国際理解に関する活動を支援する。	新型コロナウイルス感染症拡大のため、各事業を実施することができず、交付金は全額返還された。	国際交流団体の会員数(人)	50	50	60	60	60	B	新型コロナウイルス感染症拡大により活動は制限されたが、会員数は増加した。引き続き、協会の活動を支援していくことで、町民に対して国際理解、国際交流の機会を提供するとともに、外国籍住民の支援にも繋げていきたい。	B	さむかわ国際交流協会の活動を継続的に支援することができた。会員数は減少傾向にあったが令和2年度は増加した。	協働文化推進課
	国際化の推進を図るため、国際交流を行う団体の育成・活動支援をします。				57	51	49	41	51					

4 スポーツ

①スポーツについて知り・学ぶ機会

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値									
					H28	H29	H30	R1	R2					
33	スポーツ活動推進事業	①弓道教室 ②春季テニス教室 ③夏季テニス教室 ④秋季テニス教室 ⑤卓球教室 ⑥さむかわスポーツデイ ⑦レクリエーションフェスティバル ⑧親桜駅伝競走大会 ⑨かながわ駅伝	新型コロナウイルス感染拡大により、実行計画上の事業は、実施形態を変えて⑥のみの実施にとどまった。 ⑥さむかわスポーツデイ スポーツ施設を巡るスタンブラリーと携帯アプリによるラン&ウォーキングイベントへの参加とした。 実施期間 10/1～10/31 参加人数 371人 ※追加事業(教室) ○ヘルスライフアカデミー 参加人数 59人	講座・教室・大会等の開催回数(回)	14	14	14	14	14	C	新型コロナウイルスまん延により、事業の実施については、感染対策を施した上での実施が必要となり、その対策を講ずることができなかったことから、大半の事業を中止せざるを得ない状況となった。今後、これまで実施してきた内容を見直し、コロナ禍においても実施できるものとして、事業を構築していく必要がある。	B	R2年度については、コロナ禍での実施ということで目標数値をかなり下回ったが、他の年度については、概ね目標に達している。	健康・スポーツ課
	16				14	15	11	2						

②スポーツ活動の促進

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値									
					H28	H29	H30	R1	R2					
34	スポーツボランティアの育成・活動促進	スポーツ推進委員によるニュースポーツ講習会等においてスポーツボランティアとしての人材発掘	実績なし	ボランティアの登録者数(人)	50	50	20	20	20	D	スポーツイベント全体の運営を総合的に支援するためのボランティア登録については、有効な方策が整えられなかったことから、各イベント等個別の募集を試みようとしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベント自体を実施することができなかった。	C	目標を達成するための取り組みができなかった	健康・スポーツ課
	0				0	0	0	0						
35	スポーツ団体の育成・活動促進	運営費補助(体育協会、レクリエーション協会)へ運営費の補助を実施。また、各団体実施事業開催の支援を実施。	○運営費の補助 体育協会 990,000円 レクリエーション協会 150,000円 ○スポーツ施設の優先予約 ○競技団体実施事業の後援	スポーツ団体の会員数(人)	5,530	5,530	5,200	5,200	5,200	A	各団体を通じて高齢化が進み、運営する担い手が限られてきており、団体の継続が困難な状況になりつつあるケースが見受けられる。	A	課題はあるものの目標数字を上回ることができた。	健康・スポーツ課
	5,716				5,135	5,627	5,491	5,382						

5 健康・福祉

①健康・福祉について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告						R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値									
					下段：実績値									
H28	H29	H30	R1	R2										
36	健康、栄養に関する講座等の開催 (健康普及事業)	①運動ボランティア養成講座：1コース 6日 ②ロコモ予防教室：1回 2日 ③食生活改善推進員養成講座：1コース 10日 ④ライフステージ別料理教室：5回 ⑤食育ひろば：1回 ⑥健康づくり体操の日：20回 ⑦地域活動支援：43回 自らの健康は自らが守れるよう健康に関する住民への学習の機会を充実します。	講座・教室等の開催回数(回)	65	67	68	68	68	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、ロコモ予防教室以外の講座が中止となってしまったため、目標値より大きく下回ってしまった。 制限のある中での学習機会の確保が今後の課題である。	B	平成28年度～令和元年度までは、目標数値に達しているが、新型コロナウイルスの影響により、予定していた事業を実施することができなかったことから、令和2年度の実績が大幅に下がってしまっているため。	健康・スポーツ課	
	73			76	86	86	1							
37	福祉に関する講座等の開催	町内小中学校での福祉を育む学びの場づくり、第11回寒川町ふれあい福祉フェスティバル、地域における福祉体験の場、ボランティア講座、成年後見講座、地域福祉フォーラム、みんなの健康セミナー、認知症サポーター養成講座の開催等。	講座・教室等の開催回数(回)	20	24	24	24	24	A	コロナ禍で計画通りに実施できないこともあったが、オンライン開催など新たな手法を用いて開催できたことは今後につながる大きな成果となった。また、町内小中学校からの福祉体験プログラムの依頼が、毎年早くなっており、各校で福祉を育む学びの場の取り組みが定着し、必要な取り組みであることを学校にも理解いただいている成果と捉えている。	A	地域共生社会における取組の実践が進んできているため。●町内小中学校での福祉を育む学びの場づくりは、学校と学びのサポート役である地域住民(ボランティアや障がい当事者等)と社協で連携しながら、充実したプログラムを実施しており、取り組みについては学校側にも定着してきている。また、児童・生徒の皆さんが、学んだことを「福祉作文」として表現してくれることで、福祉教育の様々な面が広がってきた。●寒川町ふれあい福祉フェスティバルを通じ、住民が気軽に福祉的な内容に触れる、交流できる場が定着している。●ボランティア講座は数日間わたるプログラムでじっくり学ぶタイプから、1日で複数の学びかできる体験会へと変更した。また、オンライン開催にいち早く取り組み、新たな手法での展開を実現した。●認知症サポーター養成講座は、自治会や町内企業、公共施設等、幅広い対象者に向けて開催できている。	福祉課(社会福祉協議会)	
	54			61	50	46	30							

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値									
					下段：実績値									
H28	H29	H30	R1	R2										
38	介護に関する講座等の開催 (介護予防事業)	介護保険法に規定される地域支援事業として、介護予防事業を実施する。 一般介護予防事業 ・元気はっけん広場：48回	コロナウイルス感染症の拡大防止のため、集合で行う元気はっけん広場は1年間を通して開催できなかった。 11月から在宅版の元気はっけん教室を開催開始した。 第1クール 32回開催、36人参加 延べ参加人数235人 第2クール 32回開催、52人参加 延べ参加人数347人	講座・教室等の開催回数(回)	148	112	112	112	112	C	コロナウイルス感染症の拡大防止のための自粛生活から、運動不足や他者との関わりの減少がみられた65歳以上の方の参加があった。 個別に運動指導員から電話での指導や健康観察を行うことで、在宅での継続的な運動ができたという参加者の声が多く聞かれた。また定期的に個別の連絡がもらえることで、人と話せてよかったという声も多く見られた。	B	H28からR1までの4年間は、教室の開催が目標数値を達成することができた。R2はコロナウイルス感染症の拡大防止のために集合版の教室が開催できない状況になってしまった。R2は在宅版の教室を開催したが、目標数値には至らなかった。	高齢介護課
	148				147	184	192	64						

①健康・福祉について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値									
					下段：実績値									
H28	H29	H30	R1	R2										
39	福祉ボランティアの育成・活動促進	災害等含めボランティア活動の情報発信、ボランティアセンターを拠点とした相談、斡旋、調整を行う。ボランティア講座の開催により新たなボランティアの担い手を発掘する。	コロナ禍で、ボランティアの活動は思うように実施ができず、年間の活動人数も大きく減った。ボランティア体験会はオンライン(YouTube)にて開催し、8月下旬より町社協ホームページにてボランティアグループの活動紹介動画を公開中。動画を見た方のボランティアグループへの加入にもつながった。	ボランティアの登録者数(人)	120	130	140	150	150	B	令和2年度のボランティア活動についてはコロナ禍で大きく影響を受けた。施設や個人宅、イベント等でのボランティア活動の受け入れ中止が相次いだ。また、約1年間全く活動の場がなかったボランティアの方もおり、ボランティアへの気持ちをいかにつなぎとめておけるか、町社協ボランティアセンターの課題となった。お便り、LINE、電話、対面、ボランティア交流会等で、取り組んだ。	A	指標である「ボランティア登録者数」は、毎年、目標数値の前で推移しており、寒川町でのボランティア活動と寒川町社協ボランティアセンターが定着してきているため。また、町社協ボランティアセンターだけでなく、住民自らが組織化したボランティア活動団体も増えてきた。	福祉課(社会福祉協議会)
	154				165	153 (シニアげんきポイント事業の登録人数は除く)	149	134						

NO	事業名	2年度実行計画	2年度事業報告						R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
	事業内容		2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値									
					下段：実績値									
				H28	H29	H30	R1	R2						
40	運動ボランティアの育成・活動促進	健康運動ボランティアの養成講座開催 6月17日、24日、7月1日、15日、22日、29日 全6日間	健康運動ボランティアとして地域で活動する。 養成講座は、令和2年度は中止とした。	ボランティアの登録者数(人)	51	51	49	49	49	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、セミナーを開催することができなかった。 ボランティアの高齢化が見られるため、引き続き新人養成が必要となる。	B	登録者数は現状維持しているが、高齢化が見られるため。また、目標数値に達していないのは、養成講座が実施できなかったため。	健康・スポーツ課
	地域での健康づくり推進のため、ボランティアの育成や活動支援をします。			47	45	47	47	46						

6 環境

①環境について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名	2年度実行計画	2年度事業報告						R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
	事業内容		2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値									
					下段：実績値									
				H28	H29	H30	R1	R2						
41	環境に関する講座等の開催 (環境活動推進事業)	環境フェスティバル及び環境学習教室(5月)、川の生き物調査隊(7月)、森を知らう及び親子環境バスツアー(8月)、寒川の河原で遊ぼう(10月)、環境バスツアー(11月)、住みよいまちづくり条例ポスター展(12月)、環境保全研修会及び野鳥観察会(1月)	令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、左記のイベント等はすべて中止とした。	講座・教室等の開催回数(回)	9	10	10	10	11	D	今後も、イベント等の開催時期ごとに新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、開催の判断を行う。	C	H28年度を除き、目標数値を達成できなかったため。	環境課
	環境問題の認識を深めるため、環境教育・学習の場の提供を推進します。				9	8	9	9	0					

②環境活動の促進

NO	事業名	2年度実行計画	2年度事業報告						R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
	事業内容		2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値									
					H28	H29	H30	R1						R2
42	環境団体の育成・活動促進	<p>さむかわエコネットにおいて、年に8回行われる目久尻川クリーン作戦や、年2回行われる小出川クリーン作戦など、年間を通して行われる様々な活動に対して参加するとともに、多方面に渡る支援を行って、会の活動を支えていく。</p> <p>※さむかわエコネットの参加人数 ①クリーン作戦(ごみ拾い) 5回実施 延べ145人参加</p>	<p>第2次寒川町環境基本計画で掲げる望ましい環境像を実施するため、環境に関する活動を実施している「さむかわエコネット」に対して交付金を交付した。また、諸活動に対して人的及び物的支援を行い、協働による連携により環境活動の活発化を図った。</p>	<p>さむかわエコネットの登録者数(人)</p>	34	35	35	36	37	B	<p>環境を守る活動について、会員が自ら考え自ら行動するなど自主的な活動が増えている。</p> <p>登録者数については、目標数値に満たないため、活動のPR方法を工夫するなど、登録者の募集方法について検討を進めている。</p>	B	<p>目標数値を達成できなかったものの、目久尻川クリーン作戦への参加人数は令和元年度と比べ増加するなど、一定の成果が見られる。</p>	環境課
	環境問題の認識を深めるため、環境団体の育成や活動支援をします。				32	32	33	32	32					
43	緑化活動ボランティアの育成・活動促進	<p>HP・広報・SNSなどの情報発信ツールを活用し、積極的に周知を図り登録者を増やす。</p>	<p>緑化活動ボランティアについて、町ホームページ等での周知により登録者を募るとともに、町の花壇の空き区画を有効活用するため、観光協会主催のイベントである「冬のひまわり」に区画を提供した。</p>	<p>緑化活動ボランティアの登録者数(人)</p>	28	28	20	22	24	C	<p>町の花壇の空き区画を利用し、観光協会主催のイベントである「冬のひまわり」をボランティアや観光協会と協働で実施しているものの、早期の登録者増にはつながっていない。今後も継続し周知等することで登録者増につなげたい。また、高齢等を理由に登録を解除する方の花壇の空き区画について、有効な活用方法の検討が必要である。</p>	C	<p>登録者増に向けた取り組みは行っており、今後の増加は期待できるものの、現在のところ成果には結びついていないため。</p>	都市計画課
	緑の保全及び緑化の推進を図るためにボランティアの育成や活動支援をします。				21	19	17	13	13					

7 安全

①安全について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値									
					H28	H29	H30	R1	R2					
44	防災に関する教室の開催	各種団体、学校、保育園等において、防災に関する講座、教室等を実施します。	各種関係団体において、講習会や研修会を実施した。 ①11/3 一之宮ソフィア自治会 ②11/7 福祉団体協議会	講座・教室等の開催回数(回)	10	10	10	10	10	C	令和2年度については、コロナウイルス感染症拡大防止のため講演等の実施を自粛し、備蓄倉庫の資機材の確認等の活動を行う団体が多かったため目標達成には至らなかった。 今後も自助・共助の重要性から、継続的に実施していく必要がある。	B	令和2年度においては、感染症拡大防止のため事業の実施に至らなかった団体もあり目標達成には至らなかったが、5年間の成果としては概ね目標を達成できているため。	町民安全課
	防災意識の高揚を図るため、講座・教室・講演会等の学習機会を提供します。				9	13	14	11	2					
45	交通安全教室の開催	町内5小学校において、道路の歩行訓練(1年生)、自転車の乗り方(3年生)を実施予定 高齢者向けの交通安全講習を実施予定	令和2年度については、コロナウイルス感染症拡大防止のため実地による交通安全教室(小学1年生歩行、3年生自転車乗り方)については中止した。代替え措置として、町内各小学校へ交通安全に関するリーフレットを配布し啓発を行った。 小学校5校	講座・教室等の開催回数(回)	6	6	6	6	6	B	町内における令和2年度中の死亡事故については0件であった。また、令和元年に指定されていた「自転車交通事故多発地域」についても、令和3年度は指定されていない。 今後についても、引き続き交通安全教室(小学1年生、3年生)、また、高齢向けの講習を実施していく必要がある。	A	各小学校で交通安全教室を行い、小学生の時から交通安全に対する意識を習慣づけるとともに、近年増加傾向にある高齢者の交通安全対策等を図ることにより、交通事故全体件数の減少が見られたため。	町民安全課
	交通安全意識の高揚を図るため、講座・教室・講演会等の学習機会を提供します。				6	6	6	6	5					
46	応急手当等普及啓発事業	命を救うために行う心肺蘇生、AEDの使用方法を含む講習を実施します。 【講習内容】 応急手当講習会(1時間30分) 普通救命講習会(3時間)6回/年 上級救命講習会(8時間)2回/年 *各種団体や事業所等からの要望については日程を調整し実施します。	新型コロナウイルス流行に伴い、講習会は町指定管理者を中心に実施した。	講座・教室等の開催回数(回)	16	16	26	26	26	C	新型コロナウイルス感染防止対策を行い11回の講習会を実施した。各種団体、事業所からの要望には応えられない状況。	B	平成28年度から令和元年度までは概ね目標を達成できた。最終年度は新型コロナウイルス流行に伴い講習会の開催自体が難しく、各種団体、事業所の講習会は中止または延期となった。	予防課
	町民の誰もが適切な応急手当ができるよう講習会等の学習機会を提供します。				25	20	17	21	11					

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告						R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値									
					下段：実績値									
H28	H29	H30	R1	R2										
47	消費生活に関する講座等の開催	町内自治会等へ向き、消費生活における最近のトラブル事例や悪徳商法等に関する講座を開催します。	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止とした。	講座・教室等の開催回数(回)	1	1	3	2	2	D	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を踏まえて、オンライン開催等を検討及び実施することができなかった。	B	講座を開催することで、流行している相談内容及び相談先について周知をすることができた。課題として、オンライン開催等を検討し、町民への啓発を継続できるようにする。	町民窓口課
	町民が安心できる消費生活を送れるように、講座等の学習機会を提供します。				1	1	1	1	0					

②安全なまちづくりにむけての活動の促進

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告						R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値									
					下段：実績値									
H28	H29	H30	R1	R2										
48	自主防災組織の育成・活動促進	各地域の自主防災組織が実施する防災訓練を支援します。	各自主防災組織において訓練を実施した。自主防災組織訓練を実施した自治会(14自治会)参加者計：922人 自主防災リーダー研修会については、中止。	訓練・研修会への参加人数(人)	1,400	1,400	2,100	2,100	2,100	C	令和2年度については、コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を自粛する自治会や、規模を縮小して実施する自治会が多かった。また、例年実施している自主防災リーダー研修会も中止になったため、参加者数は目標達成には至らなかった。引き続き未実施自治会へ、コロナ禍でも実施できる取組について実施を促すようにする。	B	令和2年度においては、感染症拡大防止のため事業の実施を見直したり、規模を縮小して実施した団体もいたことから、参加人数の目標達成には至らなかったが、5年間の成果としては概ね目標を達成できているため。	町民安全課
	防災対策の普及啓発を図るため、自治会に組織されている自主防災組織の活動を支援します。				2,416	1,642	1,931	2,424	922					

8 その他住民生活に係わる分野

① 生活課題について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度実施状況	目標指標 (単位)	2年度事業報告					R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
					上段：目標数値									
					下段：実績値									
H28	H29	H30	R1	R2										
49	男女共同参画推進事業	男女共同参画の意識啓発を目的とした講座等を、県や近隣市（藤沢市・茅ヶ崎市）と連携して実施する。	①(2市1町)藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 男女共同参画特別講演会 日時：令和3年2月21日(日)10時30分配信開始 対象：父親とその小学生以下の子 内容：パパ's絵本ライブ&トーク 講師：安藤哲也氏、西村直人氏、田中尚人氏 YouTubeで生ライブ&トーク配信 ②神奈川県・寒川町男女共同参画推進市町村連携事業 日時：令和3年3月2日(火)8時30分～3月8日(月)17時 対象：申込者全員視聴可能 内容：家族で考えるワーク・ライフ・バランス～我が家のリズムにあわせたもっと自由な生活を～ 講師：堀込泰三氏 YouTubeによる動画配信	講座・教室等の開催回数(回)	2	3	2	2	2	A	①参加者：父親とその小学生以下の子23組(46名)※最終的な視聴者数 オンライン開催であったため、チャットを利用し、視聴者とコミュニケーションを取ることができた。 ②参加者：13名 ワーク・ライフ・バランスについて理解を深めるとともに、コロナ禍において家事・育児の負担が大きくなっている中で、参加者自らのワーク・ライフ・バランスについて考えていただく機会を提供できた。男女の役割分担意識にとらわれない柔軟な考え方が浸透していくよう、引き続き講演会等を開催し啓発していく必要がある。	A	ワーク・ライフ・バランスや、男女の役割分担意識にとらわれない柔軟な考え方についての啓発を県、及び他市と協力し、行うことができた。	協働文化推進課
	2				3	2	2	2						
50	平和推進事業	平和や原爆に関するパネル等の展示を行い、平和思想の普及・啓発を図る。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	講座・教室等の開催回数(回)	5	5	2	2	2	D	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施することができなかった。次年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を徹底したうえで実施を検討する必要がある。	B	平和や原爆に関するパネル等の展示を行い、平和思想の普及・啓発を図ることができた。	協働文化推進課
	2				2	2	2	0						
51	人権教育推進事業	【町民センター】人権講座(2月) 【南部公民館】戦争について学ぶ(7月)	【町民センター】平和講座(9月)	講座・教室等の開催回数(回)	1	1	1	1	1	A	当初計画していた事業は緊急事態宣言期間のため中止となったが、新規事業として9月に「平和講座～終戦から75年を迎えて 私の体験した戦争」を開催した。受講者が集まりにくいことを予測していたが、受付開始時から順調に申込があり、22人の参加があった。講師の11歳で終戦を迎え、満州から引き揚げた体験談は説得力があり、参加者アンケートでも評価が高く、同様の講座があれば参加したいとの意見が多かった。良い学びの機会を提供することができた。	A	計画期間中の実績は目標数値を達成した。	教育総務課
	1				1	1	1	1						

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度実施状況	目標指標 (単位)	2年度事業報告					R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
					上段：目標数値									
					H28	H29	H30	R1	R2					
52	選挙に関する出前 講座・模擬投票	町内小中学校において、選挙 出前授業により選挙の意義や 大切さを理解してもらうと ともに、実際の選挙と同じ手順 で模擬投票を体験してもらう ことで選挙を身近に感じて もらい、将来の投票行動につ ながっていく。	新型コロナウイルス感染拡大防 止及び授業時間数確保のため 実施できなかった。	講座・教室等 の開催回数 (回)	2	2	2	2	2	D	新型コロナウイルス感染拡大防止のた め、また、小・中学校の臨時休業分の 授業時間数を確保するために出前授業・模 擬投票の時間をとることができず、実施 できなかった。 コロナ禍での学習機会の提供、啓発方法 について検討する必要がある。	B	毎年、小・中学校に出前 授業・模擬投票の実施を 働きかけ、R2年度を除 き実施することができ た。目標回数を達成す ることはできなかったが、 アンケート結果から選挙 に対する関心、意識を高 められることができた と考えられるため。	選挙管理委員会 事務局
	選挙に関心を深め るため、基礎的な 知識や模擬投票と 開票の体験活動等 の学習機会を提供 します。				1	2	1	2	0					

② 様々な活動の促進

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度実施状況	目標指標 (単位)	2年度事業報告					R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
					上段：目標数値									
					H28	H29	H30	R1	R2					
53	ボランティア活動 促進事業	町内で活動するボランティア 団体等の登録を行い、町ホー ムページや広報で活動内容等 を紹介する。 また、問い合わせに応じて登 録団体等の紹介を行い、町民 の方とボランティア活動団体 を繋げる役割を果たすと共 に、団体同士の連携の推進に 努める。 他に、2市1町（藤沢市、 茅ヶ崎市、寒川町）で構成さ れる湘南市民活動広域連携協 議会において、NPO活動応 援事業「3枚の画像で綴る広 域市民活動成果発表会」を 実施する。	町内で活躍するボランティア 団体等の登録を行い、町ホー ムページや広報、ツイッター、 フェイスブックで活動内容等 を紹介した。 また、問い合わせに応じて登 録団体等の紹介を行い、町民の 方とボランティア活動団体を 繋げる役割を果たすと共に、 団体同士の連携の推進に 努めた。 他に、2市1町（藤沢市、茅ヶ 崎市、寒川町）で構成される 湘南市民活動広域連携協議会 において、NPO活動応援事業 「3枚の画像で綴る広域市民 活動成果発表会」を実施する 予定であったが、新型コロナ ウイルス感染拡大の影響によ り中止となった。	登録団体数 (団体)	13	16	22	23	24	A	成果：町ホームページや広報、ツイッ ター、フェイスブックにおいて活動紹介 をすることにより、団体等の活動の活性 化に繋がった。また、2市1町の市町村共 同事業助成事業として当初予定していた 「3枚の画像で綴る広域市民活動成果発 表会」は新型コロナウイルス感染症拡大 の影響により中止となったが、湘南市民 活動広域連携協議会での情報交換会は継 続して行った。 課題：近隣自治体と比較して、NPOや ボランティア団体の団体数が多くないこ と。	A	目標指標については概ね 達成しており、2年度に 予定していた事業が新型 コロナウイルス感染症拡 大の影響により中止に なったが、団体の活動内 容等の紹介や、情報交換 会については当初の予定 通りを行い、ボランティ ア団体の活動促進及び情 報の共有化に努めてきた ため。	協働文化推進課
	町内で活動するボ ランティア団体等 の登録を行い、活 動促進及び情報の 共有化、町民のま ちづくりへの参加 を促進します。			20	22	20	22	24						

第4節 学習成果の活用

① 学習成果を活用していくための支援の充実

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度実施状況	目標指標 (単位)	2年度事業報告					R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
					上段：目標数値									
					下段：実績値									
H28	H29	H30	R1	R2										
54	生涯学習人材登録制度の拡充	生涯学習人材登録制度「ステップ・アップ」の登録メニュー紹介の作成や制度のPRを目的とした登録講師の自主企画講座の支援を行う。	生涯学習人材登録制度「ステップ・アップ」の実施。 登録者:33人 制度のPRを目的とする、自主企画講座は新型コロナウイルス感染症拡大により中止とした。	登録者数 (人)	40	40	40	40	40	B	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により自主企画講座を中止としたが、引き続き、人材登録制度の登録講師による自主企画講座を実施し、制度の周知を図り、登録者数の増加と利用の推進を図る必要がある。	B	登録メニュー紹介や登録者募集のチラシを作成し、生涯学習活動に意欲のある方を学習機会を求めている方に紹介することができた。また、制度のPRを目的とした登録講師の自主企画講座の支援を行うことができた。	協働文化推進課
	地域で知識、技能、指導補助等の意欲のある方を登録し、講師紹介や自主企画講座実施等の支援を行います。			37	36	36	33	33						
55	生涯学習支援者研修の開催	9～3月頃に、茅ヶ崎市と合同で、「生涯学習支援セミナー」を開催する。	生涯学習支援者研修の開催。 (オンライン開催) ①「Zoomの使い方を取得して、自主企画講座や会議に役立てよう！」 実施日:1月25日(月)午後1時～3時 参加者:36人 ②「SNSを活用した広報戦略」 実施日:2月9日(火)午後1時～3時 参加者:30人	研修の開催 回数(回)	1	1	1	1	1	A	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインでの開催とした。 生涯学習人材登録制度登録者や公民館生涯学習推進員等向けに、Zoomの使い方やSNSを使った広報戦略をテーマとした研修の場を提供することで、それぞれの活動を支援することができた。また、研修終了後に参加者にアンケートを提出してもらったところ、その結果は概ね好評であった。	A	毎年、生涯学習人材登録者や地域生涯学習推進員等の地域で生涯学習を推進する人に研修機会を提供することができた。	協働文化推進課
	生涯学習人材登録者や地域生涯学習推進員等の地域で生涯学習を推進する人を対象に研修機会を提供します。			1	1	1	1	1						
56	公民館サークル活動の活性化	サークル参加促進を目的し、サークル入会体験フェスタを年2回(4月、10月)に実施。	各館でサークル入会体験フェスタを11月1日～11月30日に実施。	登録団体数 (団体)	170	170	170	170	170	A	当初計画では5月、10月の年2回実施予定であったが、コロナ禍により時期を変更せざるを得ない状況となった。4館で30名の参加があり、うち9名が入会に至った。令和元年度11月(参加者19名、入会者8名)に比べ、入会者は微増となった。コロナ状況下であったが、参加者数は増加した。入会者数を増やす工夫として、期間中にサークル紹介を掲示し、北部ではサークル作品展を開催した。	A	すべての年度で実績値が目標数値に達成している。	公民館 (教育総務課)
	公民館利用者層の拡大につながるよう公民館サークルを育成、活動支援を行います。			170	175	175	178	177						

NO	事業名	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
	事業内容		2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値									
					H28	H29	H30	R1	R2					
57	図書館ボランティアの育成と活動の支援	おはなし会のボランティア、配架整理ボランティアの募集、通年活動	令和2年度は、新型コロナウイルスの影響による図書館の一定期間の臨時休館や館内の利用制限がおこなわれた。また「3密回避」のため各種事業が中止された。それに伴い、各種ボランティアの活動も中止された。	登録者数 (人)	20	20	20	20	20	A	令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で各種ボランティアの活動も中止された。 なお、ボランティア登録人数については26名が登録しており目標に対する評価を「A」とした。	A	おはなし会と書架整理について、登録ボランティアの協力を得ながら図書館サービスを展開している。 おはなし会ボランティアは、子供たちが本好きになってもらいたいという「熱意」を持って読み聞かせを行っており、今後も充実を図ることとしているため。	総合図書館 (教育総務課)
	図書館ボランティアの育成や活動支援により、町民と協働する開かれた図書館を目指します。				26	26	30	30	26					
58	文書館ボランティア活動の支援	写真資料等の資料整理は、原則として毎週火曜・木曜の午後3時間程度の作業日を設け、都合のつく方に来ていただく。展示準備については、広報等で希望者を募り、展示替え当日に作業をしていただく。	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止とした。	登録者数 (人)	10	10	10	10	10	D	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じることができず、実施することができなかった。	B	写真資料や新聞資料の整理がすんだ。記録資料を後世に伝える活動を地域住民と協働で行うことの意義は大きいと考える。 課題として、ボランティア構成員の固定化・減少傾向があげられ、その対応策が今後の課題となる。	文書館
	文書館での新聞、写真などの資料整理や展示準備などのボランティアの育成と活動支援を行います。				10	8	8	6	0					
59	協働事業提案制度推進事業	令和2年度実施事業について、事業実施を実施し(4月～3月)、年度途中に中間報告会を開催する(11月)。令和3年度実施事業について、事前相談募集(4月)、事前調整(5月)、正式提案(6月)、協働事業選考委員会による審査(7月)を経て事業を採択。その結果に基づき、予算要求を行う。	令和2年度実施事業について、事業を実施し(4月～3月)、年度途中(11月)に中間報告会を開催して事業の進捗状況の確認と団体への助言等を行った。令和3年度実施事業について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったが、事前相談募集(4月)、事前調整(5月)、正式提案(6月)、協働事業選考委員会による審査(8月)を経て1事業を採択した。また、その結果に基づき予算要求を行った。	H28～29 提案採案件数(件)	3	3	人材発掘・制度見直し	事業選定	制度開始	A	成果：令和3年度実施事業を1事業採択した。中間報告会により、2年度実施事業の進捗状況の確認と団体への助言等が行えた。 課題：協働事業を企画し実施する対象団体が不足していることや、協働を活発に支える住民活動の活性化が課題である。	A	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による事業の中止があったものの、目標指標については、当初の予定通り30年度に事業を見直し、要綱改正の後新たな制度のもと事業選定を行い事業を実施することができたため。	協働文化推進課
	地域の身近な公共的課題などの解決に向けて提案された町民と町との協働事業に対して事業協力(補助)を行います。			H30～32 新たな人材発掘・制度見直し	5	6	人材発掘・制度見直し	事業選定	4					

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度実施状況	目標指標 (単位)	2年度事業報告					R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
					上段：目標数値									
					下段：実績値									
H28	H29	H30	R1	R2										
62	社会教育委員活動事業 社会教育に関する計画の立案や調査研究などを踏まえ、社会教育に関する助言や、社会教育行政の充実を図ります。	全体会(年2回) 公民館部会(年3回) 図書館部会(年3回)	全体会(年3回・うち2回は書面開催) 公民館部会(年2回) 図書館部会(年2回・書面開催)	会議の開催回数(回)	5	5	8	8	8	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、当初の予定より会議の開催時期や開催形式が変更せざるを得なかった。全体会と部会の開催回数の変更があったため、目標数値に達しなかったが、書面会議であっても委員からの意見聴取を行うことで、コロナ禍においても社会教育委員活動事業は継続した。	A	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議開催回数に変更が生じたが、その他年度は計画どおりの実施ができています。	教育総務課
5	11	8	8	7										

2 様々な機関との連携による支援体制の整備

① 関係機関との連携による学習の支援

重点事業 ⑤	NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度実施状況	目標指標 (単位)	2年度事業報告					R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
						上段：目標数値									
						下段：実績値									
H28	H29	H30	R1	R2											
63	県、各自治体、専門機関との連携【重点事業⑤】 県や周辺自治体、専門機関等と連携し、町民の学習支援体制の充実を図ります。 (県連携、藤沢市・茅ヶ崎市連携、茅ヶ崎市連携等)	・6～3月 藤沢市・茅ヶ崎市と連携し、湘南広域都市行政協議会広域文化活動部会事業を実施 ・10～11月 藤沢市・茅ヶ崎市と連携し、男女共同参画特別講演会を開催 ・9～3月 茅ヶ崎市と連携し、文教大学出張講座、生涯学習支援セミナーを開催	・湘南広域都市行政協議会広域文化活動部会事業は新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和3年度に見送りとした。 ・①(2市1町)藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 男女共同参画特別講演会 日時：令和3年2月21日(日)10時30分配信開始 対象：父親とその小学生以下の子 内容：パパ's絵本ライブ&トーク 講師：安藤哲也氏、西村直人氏、田中尚人氏 YouTubeで生ライブ&トーク配信 ②神奈川県・寒川町男女共同参画推進市町村連携事業 日時：令和3年3月2日(火)8時30分～3月8日(月)17時 対象：申込者全員視聴可能 内容：家族で考えるワーク・ライフ・バランス～我が家のリズムにあわせたもっと自由な生活を～ 講師：堀込泰三氏 YouTubeによる動画配信 ③生涯学習支援者研修の開催。(オンライン開催) ・「Zoomの使い方を取得して、自主企画講座や会議に役立てよう！」 実施日：1月25日(月)午後1時～3時 参加者：36人 ・「SNSを活用した広報戦略術」 実施日：2月9日(火)午後1時～3時 参加者：30人	連携事業数(件)	6	5	5	5	5	C	・2市1町や県と連携した男女共同参画特別講演会を開催し、YouTubeで配信を行うことで、幅広い世代に男女共同参画社会実現に向けた意識啓発を図ることができた。 ・茅ヶ崎市と連携を図り、生涯学習人材登録制度登録者や公民館生涯学習推進員等向けに、Zoomの使い方やSNSを使った広報戦略をテーマとした研修の場を提供することで、活動の支援ができた。	A	県や藤沢市・茅ヶ崎市と連携し、継続して町民の学習支援体制の充実を図ることができた。	協働文化推進課	
5	5	5	4	3											

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値										R2 評価
					下段：実績値										
H28	H29	H30	R1	R2											
64	図書館情報相互利用	県内図書館等との連携を推進し、KL-NEIを使った当館で所蔵していない図書の検索と相互利用により、利用者が求める資料の提供を行います。また、寒川町民が藤沢、茅ヶ崎市との図書館資料を直接借りることができる広域利用協定を継続します。	県立図書館との連携を図り、当館で未所蔵の資料を借り受け、利用者が求める資料の提供を行った。 また、藤沢市、茅ヶ崎市との図書館広域利用協定により、相互に活発な交流・協力を行った。	借受点数 (点)	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	C	県内図書館や藤沢市・茅ヶ崎市との資料の相互貸借や広域利用協定による交流は盛んに行われており、重要な図書館サービスとして今後も充実を図る。 令和2年度の実績値減少は、新型コロナウイルスによる休館等の影響と思われる。	B	県内市町村図書館との資料の相互貸借による連携や藤沢市・茅ヶ崎市との広域利用協定による交流などは非常に盛んに行われているため。	総合図書館 (教育総務課)	
	941				956	987	886	793							
65	高校、大学等の教育機関との連携	1～2月に、文教大学の教授等を講師とした「文教大学出張講座」を開催する。	新型コロナウイルス感染症拡大のため、文教大学の出張講座を中止とした。	開催回数 (回)	2	2	2	2	2	D	新型コロナウイルス感染症拡大のため、文教大学の出張講座を中止とせざるを得なかったが、次年度以降は、感染症対策を図りながら講座の開催を検討し、町民の学習支援体制の充実を図る必要がある。	A	令和元年度と2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたことから、目標値を達成することができなかったが、文教大学と連携して大学教員を講師に招き、町民に学習機会を提供することができた。	協働文化推進課	
	2				2	2	0	0							

② 団体や世代間交流の支援

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値										R2 評価
					下段：実績値										
H28	H29	H30	R1	R2											
66	公民館まつりの開催	令和3年2月～3月実施予定	新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため開催中止	参加団体数 (団体)	135	135	135	135	135	D	新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、令和2年度も開催中止となった。2年連続で中止となり、公民館サークルの活動発表の場や、サークル同士の交流の機会が失われることで、活動に対するモチベーションの低下、公民館を中心とした人々のつながりが希薄になる懸念がある。例年のような公民館まつりの実施が困難であることから、他の形式で活動発表・交流機会の検討が必要であると考えられる。	A	令和元、2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、事業の多くが中止となったが、平成30年度までの実績は達成している。	公民館 (教育総務課)	
	169				160	154	-	-							

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値									
					下段：実績値									
H28	H29	H30	R1	R2										
67	昔の遊び教室の開催	夏休み期間中郷土研究会を講師として町民センターと共催で実施(7月)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	参加者数 (人)	30	30	30	30	30	D	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。事業の性格上感染拡大期間の開催は困難と思われる。	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のための中止を除けば概ね各年度70~100%の達成率であるため。	教育総務課
	昔ながらの知恵や技の伝承を行いながら、子どもと高齢者の世代間の交流を深めます。				32	30	27	22	0					
68	寒川わくわくブックマーケットの開催	不惑の世代(40代)を中心とした実行委員会を組織し、3月に「寒川わくわくブックマーケット」を開催。 40代を中心とした不惑世代に主体的に地域活動へ参画してもらい、幅広い世代が交流できる事業を実施します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。	参加団体数 (団体)	30	30	30	30	30	D	2年連続で新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、寒川わくわくブックマーケットを中止とした。地域との接点が疎遠となる働き盛りの世代が地域活動へ参加してもらうために、どの世代でも関わりの深い「本」をテーマに古本市等のイベントを開催していたが、イベントの趣旨が明確ではなくなってきたため、今後はブックマーケットの開催自体について検討を行う必要がある。	A	古本市を中心に、クラフト体験・販売や飲食模擬店、アトラクションなどの寒川わくわくブックマーケットを開催し、幅広い世代が交流できる場を提供することができた。	協働文化推進課
					26	29	29	0	0					

3 施設の有効活用

① 施設の有効活用

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値									
					下段：実績値									
H28	H29	H30	R1	R2										
69	文化財学習センターの有効活用	文化財の保管、整理作業場としての活用 展示事業は予約制とする なお、基本毎週火、水、金曜日(祝日、年末年始を除く)については文化財等整理作業日であり、予約なしでも展示見学可能	文化財の保管、整理作業場としての活用は計画通りだが、展示事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、完全予約制とし、団体の利用は中止とした。	年間利用者数(人)	1,100	1,150	550	550	550	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のため大幅に利用者が減少となった。	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のための利用者の減少を除けば概ね各年度70~100%の達成率であるため。	教育総務課
	① 開館日数 ③ 利用者数				803	1,039	660	530	80					

NO	事業名	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
	事業内容		2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値									
					H28	H29	H30	R1	R2					
70	青少年広場の有効活用	グラウンド及び多目的広場等の貸し出し	・グラウンド ①開放日数：357日 ②年間利用件数：375件 ③年間利用人数：19,111人 ④IT施設予約：無 ・多目的広場 ①開放日数：357日 ②年間利用件数：334件 ③年間利用人数：16,182人 ④IT施設予約：無	年間利用者数(人)	24,500	24,500	31,000	31,000	31,000	A	年間を通して多くの利用者があり有意義だった。	B	5年間のうち、3年間は目標を達成したため。	保育・青少年課
	① 開放日数 ② 利用件数 ③ 利用者数 ④ I T施設予約有無				32,036	31,183	29,974	27,864	35,293					
71	図書館の有効活用	休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館）、年末年始、特別整理日（6月）	利用者の役に立ち、楽しんで来館、滞在してもらえる図書館を目指し、視聴覚を含む資料の収集提供や快適で安全に利用できる施設として様々なサービスを行った。 ①開館日数：246日 ②利用件数(資料貸出件数)：237,984件 ③利用者数：182,904人	年間利用者数(人)	292,000	292,500	292,500	293,000	294,000	C	令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、4月から5月のほとんどの期間を臨時休館とし、開館日数が減少したこと。 また、その前後の時期も館内利用が制限されたことにより利用者数や貸出冊数ともに減少した。	B	新型コロナウイルスの影響はあるが、利用者の役に立ち、楽しんで来館、滞在してもらえる図書館を目指しており、資料の収集、提供やイベント、学習室、インターネット環境など快適で安全に利用できる施設として様々なサービスを行っているため。	総合図書館 (教育総務課)
	① 開館日数 ② 利用件数(資料貸出件数) ③ 利用者数				272,425	265,084	290,165	289,245	182,904					

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値										年間利用者 数(人)
					下段：実績値										
H28	H29	H30	R1	R2											
72-1	公民館の有効活用	令和2年度開館日：347日（休館日：毎月第3月曜日、年末年始）	① 開館日数：347日（4/1～6/15は臨時休館とし、施設の貸出を中止） ② 利用件数：2,624件 ③ 利用者数：26,525人 ④ IT施設予約：有	年間利用者数(人)	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	C	地域の生涯学習の拠点として、サークル等への施設貸出、各種講座等事業を年間を通じて行い、学習機会や地域交流、活動の発表等の場を提供することができた。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月1日から6月15日まで臨時休館、公民館まつり等の大規模なイベントの多くが中止となった。	A	平成30年度のホール天井工事の影響と令和2年度はコロナ禍の影響のため、目標に届いていないが、その他の年度は達成している。	町民センター (教育総務課)	
	① 開館日数 ② 利用件数 ③ 利用者数 ④ IT施設予約有無	73,396			84,757	62,458	71,856	26,525							
72-2	公民館の有効活用	令和2年度開館日：347日（休館日：毎月第3月曜日、年末年始）	① 開館日数：347日（4/1～6/15は臨時休館とし、施設の貸出を中止） ② 利用件数：570件 ③ 利用者数：4,701人 ④ IT施設予約：有	年間利用者数(人)	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	C	地域の生涯学習の拠点として、サークル等への施設貸出、各種講座等事業を年間を通じて行い、学習機会や地域交流、活動の発表等の場を提供することができた。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月1日から6月15日まで臨時休館となり、一般貸出を中止した。	A	令和元年度は3月臨時休館のため、1ヶ月分の利用者減と、令和2年度はコロナ禍の影響のため、目標に届いていないが、令和元年度までの実績は達成している。	町民センター 分室 (教育総務課)	
	① 開館日数 ② 利用件数 ③ 利用者数 ④ IT施設予約有無	11,115			12,913	12,407	11,149	4,701							
72-3	公民館の有効活用	令和2年度開館日：347日（休館日：毎月第3月曜日、年末年始）	① 開館日数：347日（4/1～6/15は臨時休館とし、施設の貸出を中止） ② 利用件数：1,238件 ③ 利用者数：10,251人 ④ IT施設予約：有	年間利用者数(人)	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	C	地域の生涯学習の拠点として、サークル等への施設貸出、各種講座等事業を年間を通じて行い、学習機会や地域交流、活動の発表等の場を提供することができた。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月1日から6月15日まで臨時休館、公民館まつり、子どもフェスティバル等の例年集客の多いイベントが中止となった。	B	令和2年度はコロナ禍の影響のため、目標に届いていないが、令和元年度までの実績は概ね達成している。	北部公民館 (教育総務課)	
	① 開館日数 ② 利用件数 ③ 利用者数 ④ IT施設予約有無	28,108			30,014	30,124	22,413	10,251							
72-4	公民館の有効活用	令和2年度開館日：347日（休館日：毎月第3月曜日、年末年始）	① 開館日数：347日（4/1～6/15は臨時休館とし、施設の貸出を中止） ② 利用件数：1,863件 ③ 利用者数：17,088人 ④ IT施設予約：有	年間利用者数(人)	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	C	地域の生涯学習の拠点として、サークル等への施設貸出、各種講座等事業を年間を通じて行い、学習機会や地域交流、活動の発表等の場を提供することができた。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月1日から6月15日まで臨時休館、公民館まつりが中止となった。	A	令和2年度はコロナ禍の影響のため、目標に届いていないが、令和元年度までの実績は達成している。	南部公民館 (教育総務課)	
	① 開館日数 ② 利用件数 ③ 利用者数 ④ IT施設予約有無	32,945			36,033	37,596	33,505	17,088							

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値									
					H28	H29	H30	R1	R2					
73	寒川総合体育館の有効活用	利用者を増加させるための施策を指定管理者と協働で引き続き検討する。	①開館日数:273日 ②利用件数:7,139件 ③利用者数:92,909人 ④IT施設予約:有	年間利用者数(人)	230,000	252,000	260,000	270,000	280,000	C	新型コロナウイルス感染拡大防止に係る閉館及び利用制限の実施、また、利用者の利用控え等により、利用者の大幅減となった。 今後は、引き続き新型コロナ感染拡大防止対策を十分に行ったうえで、ウィズコロナに対応した利用増に向けた取り組みを行う。	B	令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が大幅減となったが、コロナの影響が出る前までは、着実に利用者が増加していたため。	都市計画課
	①開館日数 ②利用件数 ③利用者数 ④IT施設予約有無				247,585	251,119	265,902	250,208	92,909					
74	さむかわ庭球場の有効活用	①テニス協会主催(町共催)による教室の開催(春・夏・秋) ②テニス協会主催による大会の開催(春・秋) ③一般利用者による利用(年間)	①開放日数 249日 ②利用件数 1,893件 ③利用者数 9,467人 ※4/7~6/14 新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言発令により施設を閉鎖	年間利用者数(人)	12,000	12,000	14,250	14,250	14,250	C	新型コロナウイルス感染症蔓延のため、教室等の事業中止と緊急事態宣言による施設閉鎖があったことから、目標数値を大幅に下回った。	B	雨天の影響や新型コロナウイルス感染症拡大により利用者数が減少する年度もあったが、平均すると概ね目標数値を達成できている。	健康・スポーツ課
	①開放日数 ②利用件数 ③利用者数 ④IT施設予約有無				18,231	16,203	11,429	10,357	9,467					
75	スポーツ公園の有効活用	①田端スポーツ公園・・・指定管理者による自主事業の開催及びその他登録団体等による活動 ②倉見スポーツ公園・・・ソフトボール等登録団体による活動	①開放日数 田端 289日、倉見 295日 ②利用件数 田端 2,861件 倉見 701件 ③利用者数 田端 37,395人 倉見 6,330人 ※4/6~6/14 新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言発令により施設を閉鎖	年間利用件数(件)	1,700	1,700	1,950	1,950	1,950	A	田端スポーツ公園に指定管理者制度を導入したことと町外の団体の利用を認めたことで利用件数が目標数値を大幅に上回った。	A	指定管理者制度を導入したことで快適な環境と利用者の利便性が向上し、利用者を増加することができた。	健康・スポーツ課
	①開放日数 ②利用件数 ④IT施設予約有無				1,996	2,105	2,068	3,518	3,562					

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価	担当課
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値									
					H28	H29	H30	R1	R2					
76	学校体育施設の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・予約方法等の見直しを検討し、利用者の利便性を向上させるよう努める。 ・学校開放用に貸し出せる備品の拡充を図る。 	①開放施設数 体育館：8(小学校5、中学校3) 野外運動場：7(小学校5、中学校2)※中学校については、夜間照明施設を含む その他：1(南小学校ふれあいホール) ②利用件数：1,463件 ③IT施設予約：有	年間利用件数(件)	6,800	7,000	12,700	13,000	10,200	C	学校体育施設等を学校の教育に支障のない範囲で、地域の団体に開放することが出来た。(※なお、令和2年度については、前年に引き続き、感染症対策のため、施設の利用可能コマ数自体が少なくなっている。令和元年度：12,774コマ→令和2年度2,674コマ。それぞれの利用率を計算すると、令和元年度は約63%、令和2年度は約55%とコロナの影響もありやや減となった。R2評価は指標に対し、70%未満であるために評価をCとした)また、学校体育施設等開放事業における制度運用を見直す必要がある。(※予約方法や利用方法など、より公平で利用しやすい制度に変えていく)	B	5年間の間に担当課も変わるなどしたが、概ね事業目標である社会教育その他公共の為に施設活用は達成出来た。制度運用については、これまでの経緯などから課題があると認識しており、今後、見直しを進めていく。また、感染症対策による成果指標への影響が大きかった為、次期計画策定時には利用率での評価とする。	H28～29 教育総務課 H30～R2 教育施設・給食課
	開放施設数 ②利用件数 ④IT施設予約有無				8,874	9,581	9,465	7,991	1,463					
77	文書館の有効活用	①開館日数は、年間306日を予定。 ③閲覧・レファレンスは開館時間中、随時行う。	①開館日数は、248日。4月1日～6月15日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため休館とした。 ②閲覧件数は191件。レファレンス件数は264件。	年間利用者数(人)	580	590	596	601	607	B	4月1日～6月15日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため休館とした。なお、同期間においても電話・メールでのレファレンスには対応した。6月16日以降は、感染防止対策を施し、閲覧業務を再開した。	B	概ね目標数値に達することができた。なおレファレンスの内容は、1件ごとにデータベースに登録している。このデータは今後の活動に資することが大きい。この蓄積も評価に値すると考える。	文書館
	①開館日数 ③利用者数(閲覧件数+レファレンス数)				668	639	572	602	455					
78	地域集会所の有効活用	引き続き、指定管理を地域集会所運営委員会連絡協議会(地域集会所を持っている自治会を中心とした運営委員会の集合体)に委託し、施設の有効活用を図っていく。	引き続き、指定管理を地域集会所運営委員会連絡協議会に委託し、施設の有効活用を図った。	年間利用件数(件)	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	C	成果：公共施設等総合管理計画による地域集会所の方向性について、引き続き現状や課題の把握に努めてきた。課題：引き続き、台風や豪雨による修繕や経年による空調機の交換等が必要な施設が多く、長期的計画を立てる必要がある。	B	第3期実施計画の評価は、令和2年度のみ新型コロナウイルス感染症拡大の影響により施設の利用制限を行ったことから目標の3割程度であったが、それまでは概ね9割程度の実績で推移してきたため。	協働文化推進課
	開放施設数 ②利用件数 ④IT施設予約有無				3,628	3,669	3,592	3,629	1,365					

4 参加を支える環境づくり

① 参加しやすくするための環境づくり

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告						R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値									
					下段：実績値									
H28	H29	H30	R1	R2										
79	講座開催時の託児の実施	講座内容により、託児の実施を各課へ依頼する。	講座内容に応じて、託児の実施をするよう各課へ依頼した。	講座・教室での実施率 (%)	20	20	20	20	20	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座・教室の開催数が大幅に減った。R2実績値は各講座・教室の託児の必要性を判断するのが難しいため、全講座・教室数に対する託児実施率を記載。託児が必要な講座が多い子育て支援課の託児実施率は、3.3%となっている。	C	子育て世代が参加しやすい環境づくりに努めてきたが、5年間では目標値に達することができなかったため。	協働文化推進課
	子育て世代が参加しやすい環境づくりを推進します。			11	10	7	6	1						
80	手話通訳・要約筆記等の設置及び派遣	講座内容により、手話通訳派遣の実施を各課へ依頼する。	講座内容に応じて、手話通訳派遣の実施をするよう各課へ依頼した。	講座・教室での実施率 (%)	5	5	5	5	5	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座・教室の開催数が大幅に減った中で実施率は昨年度の実績を維持した。引き続き、全ての人が学習に参加しやすい環境づくりとして手話通訳・要約筆記等の設置及び派遣をより進めていく必要がある。なお、R2実績値は全講座・教室数に対する手話通訳派遣の実施率を記載。	C	障害者や高齢者が講座や教室に参加しやすくなるよう、情報のバリアフリー化に努めてきたが、5年間では目標値に達することはできなかったため。	協働文化推進課
	障害者や高齢者が生涯学習に参加しやすくなるよう、情報のバリアフリー化を推進します。			3	1	1	3	3						
81	土日休日開催	講座内容により、勤労者などが参加しやすい曜日での実施を各課へ依頼する。	講座内容に応じて、勤労者などが参加しやすい曜日での実施をするよう各課へ依頼した。	講座・教室での実施率 (%)	25	25	30	30	30	A	講座の参加対象者に応じて平日開催の講座等もあるが、全講座に対する土日休日開催の割合は目標に達しており、参加しやすい環境づくりが進められている。	A	全ての年度において目標値を上回ることができ、対象者に応じた参加しやすい環境づくりを進めることができた。	協働文化推進課
	学生や勤労者など生涯学習活動への時間が限られる層が参加しやすいように開催時間を工夫します。			32	32	37	35	42						
82	夜間開催	講座内容により、勤労者などが参加しやすい時間帯での実施を各課へ依頼する。	講座内容に応じて、勤労者などが参加しやすい時間帯での実施をするよう各課へ依頼した。	講座・教室での実施率 (%)	3	3	3	3	3	C	各講座・教室の夜間開催の必要性を判断するのが難しいため、R2実績値は全講座・教室数に対する夜間開催実施率を記載。勤労者が対象の講座については夜間開催を実施している。	C	勤労者が講座や教室に参加しやすくなるよう、開催時間を工夫してきたが、5年間では目標値に達することができなかったため。	協働文化推進課
	勤労者など生涯学習活動への時間が限られる層が参加しやすいように開催時間を工夫します。			2	2	1	1	1						

NO	事業名 事業内容	2年度実行計画	2年度事業報告							R2 評価	事業の成果・課題等	第3期実施計画 (5年間)の評価	第3期実施計画(5年間)の 評価の理由	担当課	
			2年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値										R2 評価
					下段：実績値										
H28	H29	H30	R1	R2											
83	講座開催時のアンケート調査の実施	開催する講座・教室において、参加者に対しアンケート調査を実施するよう、各事業担当課に依頼する。	開催する講座・教室において、参加者に対しアンケート調査を実施するよう、各事業担当課に依頼した。	講座・教室での実施率(%)	100	100	100	100	100	C	講座・教室の実施形態によっては、アンケート調査を実施するのが難しいものもあるが、参加者の満足度や意見等を把握し、次回の講座の企画等に活かすため、さらにアンケート調査の実施を進めていく必要がある。	C	講座や教室の参加者に対するアンケート調査を通して、満足度や課題などの把握に努めてきたが、5年間では目標値に達することができず、4割弱の実施率であったため。	協働文化推進課	
	参加者の意見を聴取し、満足度や課題などを把握することで、参加しやすい環境づくりを推進します。			38	36	36	35	39							
84	インターネットを活用した参加申込	開催する講座・イベント等について、Eメールやホームページからの申込みが出来るよう、各事業担当課へ依頼する。	開催する講座・イベント等について、Eメールやホームページからの申込みが出来るよう、各事業担当課へ依頼した。	講座・教室での実施率(%)	100	100	100	100	100	C	Eメールやホームページから申し込みが出来るようにしている講座でも、実際の申し込みは申し込み用紙や電話によるものが多いが、インターネットによる申し込みができないことにより参加の機会を得られないということがないように、インターネットを活用した参加申込を進める必要がある。	C	5年間では目標値に達することができず、1割以下の実施率であったため。	協働文化推進課	
	Eメールやホームページからの申し込みなど、ICT(情報通信技術)活用をすることで参加しやすい環境づくりを推進します。			8	7	6	2	5							

第5節 参加を支える環境の整備

4 参加を支える環境づくり

①参加しやすくするための環境づくり

【各課内訳】

※表中、「実績」は参加しやすい環境を整えて参加者を募集した講座等の件数、「実施」は「実績」のうち実際に実施した講座等の件数

担当課	講座・教室等の開催有無	開催数合計 件数	79		80				81		82		83		84		事業の成果・課題等			
			託児		手話通訳		要約筆記		土日休日		夜間		アンケート		インターネット					
			実績		実施		実績		実施		件数	開催数に対する割合(%)	件数	開催数に対する割合(%)	件数	開催数に対する割合(%)		件数	開催数に対する割合(%)	
			件数	開催数に対する割合(%)	件数	開催数に対する割合(%)	件数	開催数に対する割合(%)	件数	開催数に対する割合(%)										
1 広報戦略課	無																			
2 文書館	無																		新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、令和2年度事業は中止とした。	
3 協働文化推進課	有	4	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	2	50.0	1	25.0	4	100.0	4	100.0	(男女共同参画)YouTubeによるオンライン配信を実施した。 (生涯学習)文教大学出張講座は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止したが、生涯学習支援者研修はオンラインで開催した。
4 町民安全課	有	21	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	14	66.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	(災害対策)感染症拡大予防のため、実施回数は減少したが、各団体で出来る範囲での取り組みを行い一定の成果は上がった。 (交通安全)交通安全教室は感染症拡大予防のため中止とし、リーフレットの配布による啓発を実施。
5 町民窓口課	無																			新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、令和2年度事業は中止とした。
6 福祉課	有	30	0	0.0	0	5	16.7	5	0	0.0	0	1	3.3	1	3.3	1	3.3	1	3.3	・託児については、例年、町主催事業に社協ボランティアセンターから保育ボランティアの派遣をしていますが、コロナ禍で0でした。 ・成年後見講座でGoogleフォームを活用し、申込み受付とアンケート受付をしました。
7 高齢介護課	有	3	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	3	100.0	0	0.0	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった講座が多くあったが、認知症サポーター養成講座等は企業からの依頼もあり、感染対策を施して実行した。
8 子育て支援課	有	30	1	3.3	1	0	0.0	0	0	0.0	0	4	13.3	0	0.0	26	86.7	4	13.3	OB会を感染対策としてZoomで開催したが、直接会うことの希望が多く参加者は少なかった。

担当課	講座・教室等の開催有無	開催数合計 件数	79		80						81		82		83		84		事業の成果・課題等	
			託児		手話通訳		要約筆記		土日休日		夜間		アンケート		インターネット					
			実績		実施	実績		実施	実績		実施	件数	開催数に対する割合(%)	件数	開催数に対する割合(%)	件数	開催数に対する割合(%)	件数		開催数に対する割合(%)
			件数	開催数に対する割合(%)	件数	件数	開催数に対する割合(%)	件数	件数	開催数に対する割合(%)	件数									
9 保育・青少年課	無																			
10 健康・スポーツ課	有	8	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	7	87.5	0	0.0	1	12.5	0	0.0	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった講座が多くあった。今後、感染状況を見ながら、制限のある中での実施方法を検討していく。
11 産業振興課	有	2	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	1	50.0	0	0.0	2	100.0	1	50.0	コロナ禍ではあったが、感染症対策を施したうえで面接会やセミナーを実施できた。今後は、状況に応じた対応方法での実施等を検討していく必要がある。
12 環境課	無																			新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、令和2年度事業は中止とした。
13 都市計画課	無																			
14 選挙管理委員会事務局	無																			新型コロナウイルス感染症拡大防止及び小・中学校臨時休業に伴う授業時間数確保のため、事業を実施できなかった。
15 教育総務課	有	2	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した事業もあった。感染拡大期間の開催は困難。
16 学校教育課	無																			
17 町民センター・公民館	有	82	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	49	59.8	0	0.0	42	51.2	0	0.0	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業を中止した。9月から公民館講座を再開し、すべて対面事業であるが、参加者の満足度は総じて高い。
18 総合図書館	有	11	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	6	54.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業を中止した。10月～12月にはなし会を通常毎週から隔週に減数、予約制にして実施。
19 教育施設・給食課	無																			
20 予防課	有	11	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	9.1	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、WEB講習を取り入れるなど、講習内容を見直し実施した。
合計		204	1	0.5	1	5	2.5	5	0	0.0	0	86	42.2	2	1.0	79	38.7	11	5.4	
令和2年度評価			C		C						A		C		C		C			

「寒川 学びプラン」令和2年度事業報告及び 第3期実施計画(平成28年度～令和2年度)事業実施状況の評価(案)

[寒川町生涯学習推進会議評価]

・第1節 情報提供体制・相談体制について（重点事業①、②）

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で事業が中止となり実績値が減少したため、半数がC評価となっている。町民が積極的に生涯学習に取り組めるよう今後も十分な情報提供や相談の体制を維持していただきたい。

第3期実施計画では全事業がA評価（達成した）となっている。情報紙の発行や広報活動等を通じて必要な情報を町民に届けることができたといえる。第2次プランにおいても町民の学習意欲や自主的・自発的な学習活動を支援していくために、様々な学習情報の提供や学習相談体制の整備に努めていただきたい。

・第2節 ライフステージごとの学習について

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で事業が中止となり実績値が減少したため、11事業がC評価、1事業がD評価となっている。町民が生涯にわたって学習活動を行うことができるよう、今後も学習の支援を進めていただきたい。

第3期実施計画では8事業がA評価、7事業がB評価となっており、ライフステージごとの学習について概ね取り組みができたといえる。第2次プランにおいても事業の成果や課題等の評価が甘くならないよう事業に取り組むとともに、人が成長する各段階に応じた学習機会の充実を図っていただきたい。

・第3節 分野ごとの学習について（重点事業③）

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で7事業が事業の実施ができなかったため、D評価となっている。コロナ禍においても学習ニーズや個別の課題に対応した学習の場や機会を提供できるよう事業実施の手法等を工夫していただきたい。

第3期実施計画ではC評価となった3事業を除けば、その他はA評価・B評価となっている。第2次プランにおいても町民の多様化する学習ニーズに応じた魅力的な学習メニューの提供に努め、少子高齢化や人口減少をはじめとする社会経済環境の変化に対応した学習機会の充実を図っていただきたい。

・第4節 学習成果の活用について

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で事業の実施ができなかった1事業を除き、AまたはB評価となっている。今後、学びの成果が町民の自発的な活動につなげていけるような仕組みや機会の充実に努めていただきたい。

第3期実施計画では4事業がA評価、2事業がB評価となっている。B評価となった2事業は、5年間の中で実績値が減少傾向にあるため、原因分析や検証を行い改善策を講じるとともに、引き続き、第2次プランにおいても学習成果を活かすことができるよう活動の支援を十分に行っていただきたい。

・第5節 参加を支える環境の整備について（重点事業④、⑤）

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で15事業がC評価、4事業が事業の実施ができなかったためD評価となっている。感染対策を図り、コロナ禍においても誰もが学習活動に参加しやすくするための環境づくりを進めていただきたい。

第3期実施計画では5事業がC評価（達成できなかった）となっている。原因分析、検証を行い改善策を講じるよう努めていただきたい。引き続き、第2次プランにおいてもすべての人が生涯学習活動に参加しやすくするための環境整備に努めていただきたい。